

(令和4年第1回定例会3月会議)
【議案第21～29号 参考資料】

令和4年度 当初予算 主要施策一覽

令和4年3月

会 計 課

目 次

【一般会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1			議会費		
	1		議会費		
		1	議会費	(新規) 本会議会議録検索システム導入事業	1
2			総務費		
	1		総務管理費		
		1	一般管理費	(新規) 個人情報取扱事務データベース化業務	2
		6	財産管理費	(新規) 特定分収契約に基づく費用負担金返納事業	3
		7	企画費	ふるさと住民票交付事業	4
				かつらぎ町自分ごと化会議	5
				公共交通調査事業	6
				ふるさとかつらぎ寄附金特産品送付事業	7
		11	支所費	(新規) 花園地区テレワーク推進事業	8
		13	電算管理費	(新規) 自治体オンライン手続対応(自治体DX推進事業)	9
		18	コミュニティバス運行費	コミュニティバス運行事業	10
		21	地域交流センター整備事業費	志賀地域交流センター整備事業	11
	2		徴税费		
		1	税務賦課徴収費	(新規) 航空写真撮影及び地理情報システム改修業務委託	12
	3		戸籍住民基本台帳費		
		1	戸籍住民基本台帳費	(新規) 証明書コンビニ交付サービス事業	13
3			民生費		
	1		社会福祉費		
		3	老人福祉費	国城寮建替事業(伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合)	14
		15	人権推進費	人権啓発推進事業	15
	2		児童福祉費		
		1	児童福祉総務費	(新規) 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金	16
		8	児童健全育成事業費	(新規) 学童保育施設運営事業	17
4			衛生費		
	1		保健衛生費		
		2	予防費	(新規) がん検診受診料自己負担無料化事業	18
		3	環境衛生費	下志賀地区飲料水供給施設整備事業	19
				(新規) 上志賀地区水道施設補助金	20
		7	斎場管理費	(新規) 斎場施設修繕事業	21
				(新規) かつらぎ霊園階段新設事業	22
		8	新型コロナウイルス感染症対策費	新型コロナウイルス感染症相談総合窓口設置事業	23
				新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	24
	2		清掃費		
		1	清掃総務費	(新規) 地球温暖化対策実行計画策定事業	25
6			農林水産業費		
	1		農業費		
		4	園芸振興費	(新規) 病虫害防除対策事業	26
		7	地域振興施設管理費	(新規) 地域振興施設改修工事	27
		9	耕作放棄地対策推進事業費	農作物鳥獣害防止総合対策事業	28
		13	地域おこし支援費	地域おこし協力隊事業(援農・就農、移住支援業務)	29
		14	農地総務費	(新規) 土地改良施設維持管理適正化事業(七郷井負担金)	30
		16	農村地域防災減災事業費	農村地域防災減災事業費(ため池劣化状況評価・豪雨耐性評価業務委託)	31
				農村地域防災減災事業(県営ため池改修事業)	32
	2		林業費		
		1	林業総務費	(新規) 経営管理業務委託料	33
		6	山村地域おこし支援費	地域おこし協力隊事業	34
				(新規) 地域おこし協力隊事業(テレワーク推進)	35
7			商工費		
	1		商工費		
		1	商工総務費	(新規) 道の駅周遊促進事業	36
		2	地域おこし支援費	地域おこし協力隊事業(ふるさと特産品 開発・販売支援)	37
	2		観光事業振興費		
		1	観光事業振興費	観光案内・PR業務委託	38
				(新規) 観光案内看板整備事業	39

目 次

款	項	目	名称	施策名	ページ	
8	2	3	土木費			
			道路橋梁費			
			道路新設改良費	(新規) 緊急自然災害防止対策事業(町道四邑16号線道路改良)	40	
		4	4	辺地対策事業費	公共施設等適正管理推進事業(個別施設計画)	41
				社会資本整備総合交付金事業費	辺地対策事業費(四郷1号線)	42
		5	5	社会資本整備総合交付金事業費	社会資本整備総合交付金事業費(町道大谷長野線)	43
				社会資本整備総合交付金事業費	社会資本整備総合交付金事業費(町道1号線)	44
		8	8	長寿命化修繕事業費	道路メンテナンス事業(橋梁点検)	45
	(新規) 道路メンテナンス事業(見好5号橋)			46		
	道路メンテナンス事業(見好20号橋)			47		
	3	1	河川費			
			河川費	(新規) 緊急自然災害防止対策事業(小林谷川改修)	48	
		4	3	都市計画費		
				公園整備事業費	かつらぎ西部公園整備事業	49
		4	4	かつらぎ西部公園管理費	(拡充) かつらぎ西部公園管理事業	50
				住宅費		
		7	7	公営住宅等整備事業費	妙寺団地建替事業	51
				公営住宅等ストック総合改善事業費	(拡充) 公営住宅等ストック総合改善事業	52
		9	9	空家等対策事業費	不良空家等対策事業	53
				消防費		
		1	2	消防費		
				非常備消防費	(新規) 消防団運営補助金	54
				防災費	(拡充) 備蓄食糧購入事業	55
7		7	防災費	(新規) ブロック塀等耐震対策事業	56	
			教育費			
	教育総務費					
10	1	2	事務局費	(新規) 指導主事設置事業	57	
			教育諸費	(新規) 校務用ネットワーク機器等更新事業	58	
	3	4	学校給食費	(新規) 学校給食費無償化による子育て支援事業	59	
			中学校費			
	2	2	中学校管理費	(新規) 笠田中学校階段昇降機設置工事	60	
			教育振興費	(新規) 水泳指導地域人材連携事業(中学校水泳授業)	61	
	5	4	社会教育費			
			公民館総務費	(拡充) かつらぎ町公民館活動推進事業	62	
	7	7	文化財保護費	(新規) 木造十一面観音菩薩立像盗難防止設備設置事業補助金	63	
			(新規) 丹生都比売神社構成要素修理事業補助金	64		

【シビックセンター特別会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
2	1	1	事業費		
			事業費		
			事業費	紀州かつらぎふるさとオペラ公演事業	65

【介護保険事業特別会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
3	1	1	地域支援事業費		
			介護予防・生活支援サービス事業費		
			介護予防・生活支援サービス事業費	(新規) 介護予防・生活支援サービス事業費(短期集中予防サービス)	66
			包括的支援事業・任意事業費		
			任意事業費	(拡充) かつらぎ町高齢者等見守り配食サービス事業	67
4	2	2	包括的支援事業費(社会保障充実分)		
			生活支援体制整備事業費	(拡充) 生活支援体制整備事業	68

目 次

【花園地域交流推進施設運営事業特別会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1	1	2	事業費 事業費 花園野外活動総合施設運営費	アマゴ釣り大会運営事業	69

【水道事業会計(上水道の部)】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1	1	4	資本的支出 建設改良費 固定資産購入費	(新規)水道料金調定収納及び公営企業会計システム機器更新事業 (新規)給水車購入事業	70 71

【水道事業会計(花園梁瀬簡易水道の部)】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1	1	3	資本的支出 建設改良費 改良更新費	花園梁瀬簡易水道中継ポンプ井更新工事	72

【下水道事業会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1	1	1	資本的支出 建設改良費 公共下水道整備事業費	(新規)大谷污水管渠布設基本設計業務委託	73

※全73事業(うち、新規37件 拡充6件 その他30件)

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	本会議会議録検索システム導入事業		本年度予算 1,249千円
(款) 1.議会費	(項) 1.議会費	(目) 1.議会費	前年度予算 0千円
議会事務局		予算書 61ページ	(増減) 1,249千円
第5章 みんなでつくる協働のまちづくり		第1節 住民主体のまちづくり	第1 協働によるまちづくり

内容	<p>本会議会議録検索システムを導入し、パソコンやスマートフォン等から会議録の検索、閲覧ができる環境を整えます。</p> <p>町議会ホームページを通じて会議録検索システムウェブサイトアクセスし、キーワード、会議日、発言者等の検索により、利用者が簡単な操作で過去の会議録を見つけることができます。</p> <p>[事業期間] 令和4年度 ~</p>	
	<p>本会議会議録をインターネット上に公開し検索を可能とすることにより、住民への情報公開を促進し、議会や町政への知識や関心を高め、まちづくりへの関わりを深めていくことを目的とします。</p> <p>また、議会の内容を町民に伝えるとともに、議会活動の効率化・活性化や庁内事務の迅速化を図り、行政サービスの向上につなげます。</p>	
目的	活動	<p>本会議会議録をデータベース化し、インターネット上で公開します。</p> <p>[対象議事録] 現年度分(令和4年度) 過年度分(平成30年度~令和3年度(4年分))</p>
	目標	<p>会議録検索システムを導入することにより、住民に対する情報公開の推進と議会活動の効率化につなげます。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	会議録検索システムデータ変換業務委託料	787千円
	会議録検索システム利用料	462千円
	(計)	1,249千円
財源	一般財源	1,249千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新規	個人情報取扱事務データベース化業務		本年度予算 3,520千円
(款) 2.総務費	(項) 1.総務管理費	(目) 1.一般管理費	前年度予算 0千円
総務課 管理係		予算書 64ページ	(増減) 3,520千円
第6章 信頼される役所づくり		第1節 改革によるまちづくり	第1 行政運営の効率化

内容	<p>個人情報保護法の改正により、地方公共団体の個人情報保護制度が国の法律に一元化され、個人情報ファイル簿の作成及び公表が義務となります。</p> <p>個人情報取扱事務等を洗い出し、個人情報ファイル簿の作成及び公表できる環境を整備します。</p> <p>[事業期間] 令和4年度</p>	
	<p>住民の個人情報を守り、適切に運用するため、個人情報ファイル簿を作成し、管理できる仕組み及び環境づくりを行うことを目的とします。</p>	
目標	活動	<p>個人情報取扱事務等を洗い出し、個人情報ファイル簿を作成します。</p> <p>作成した個人情報ファイル簿は、ホームページ上で公表します。</p>
	目標	<p>法改正に対応した個人情報の適切な管理運用を行います。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	個人情報取扱事務データベース化業務委託料	3,520千円
	(計)	3,520千円
財源	一般財源	3,520千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	特定分収契約に基づく費用負担金返納事業		本年度予算 12,021千円
(款) 2.総務費	(項) 1.総務管理費	(目) 6.財産管理費	前年度予算 0千円
管財情報課 管財係 (企画公室 管財契約係)		予算書 69ページ	(増減) 12,021千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内容	<p>特定分収とは、契約者が土地所有者との森林の共同経営を行うことにより、その収益を一定割合で分収することをいいます。</p> <p>昭和56年3月に、旧花園村が85名と契約を交わしましたが、契約期間が終了する平成15年3月に、伐採による収益が見込めないため、73名と契約延長(20年)することとなりました。その後、13名が解約をし、現在60名と契約が有効な状態です。</p> <p>令和4年度末に契約期間が満了となりますが、収支見込は赤字となり、今後も収益が見込めないことから、契約書に基づき1人当たり20万円を返還します。</p> <p>[事業期間] 令和4年度</p>	
	目的	<p>契約期間の満了に伴い、分収林については、今後も伐採による収益が見込めないことから、契約者が費用負担した金20万円を返還します。</p>
目標	活動	<p>伐採収支見積書を提示し、所有権移転登記が完了した契約者等に1人当たり20万円を支払います。</p>
	目標	<p>契約者等全員への返還金支払いを目指します。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	郵送料	21千円
	特定分収契約解約補償金	12,000千円
	(計)	12,021千円
財源	一般財源	12,021千円

【一般会計】

		事業区分	町自主事業
ふるさと住民票交付事業			本年度予算 1,292千円
(款) 2.総務費	(項) 1.総務管理費	(目) 7.企画費	前年度予算 353千円
企画公室 地方創生係 (企画公室 まちづくり推進係)		予算書 70ページ	(増減) 939千円
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり	第4節 交流によるまちづくり		第1 地域間交流の推進

内容	<p>かつらぎ町外在住の方で、かつらぎ町に「関わりたい」「応援したい」との思いを持たれる方に、ふるさと住民に登録いただき、その証として「ふるさと住民カード」の発行を行います。</p> <p>[主な対象者] 町外の方すべて(町出身者、ふるさと納税寄附者、町内に通勤・通学している方など)</p> <p>[事業期間] 令和2年度 ~</p>	
	<p>かつらぎ町に「縁がある方」や「応援してくれる方」との繋がりを深め、外からまちづくりに関わっていただくことで、関係人口の増加及び地域活性化を図ります。 また、ふるさと住民が本町の魅力を伝える役割を担っていただく仕組みづくりを構築します。</p>	
目標	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと住民カード」の発行 ・PR活動やイベントの実施(特産品プレゼント、町民体験型イベントを実施予定) ・SNSを活用した情報の発信 ・カード特典の構築
	目標	<p>[数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数(累計):600人 (令和4年1月末時点:460人)
成果	実績	
	課題等	

経費	職員旅費	113千円
	消耗品費	5千円
	印刷製本費	131千円
	郵送料	143千円
	傷害保険料	5千円
	ふるさと住民イベント事業委託料	157千円
	ふるさと住民加入促進事業委託料	738千円
	(計)	1,292千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金1,000千円)	1,292千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
かつらぎ町自分ごと化会議			本年度予算 3,577千円
(款) 2.総務費	(項) 1.総務管理費	(目) 7.企画費	前年度予算 3,787千円
企画公室 政策調整係 (企画公室 まちづくり推進係)		予算書 70ページ	(増減) △210千円
第5章 みんなでつくる協働のまちづくり	第1節 住民主体のまちづくり		第1 協働によるまちづくり

内容	<p>町民の中から無作為抽出のうえ応募のあった住民判定人による事業仕分けを行います。事務事業についての議論は外部有識者の仕分け人が行い、その議論を聞いて、無作為抽出のうえ応募による「住民判定人」が判定を行います。(住民判定人は1班20名～30名程度を想定、判定人は議論に加わらない、会議は全面公開にて実施)</p> <p>会議での結論をもとに内部協議を行い、事業の見直し・改善につなげます。</p> <p>[事業期間] 令和2年度～</p>	
	<p>これからのまちづくりの基本的な考え方として、いかに小さくして質を高めるか、住民がいかに町のことを「自分ごと化」できるかがポイントとなります。</p> <p>事業担当者と仕分け人や住民が個々の事業の課題を共有し、ともに解決策を考えることにより、住民が行政に対する理解を深めて当事者意識や信頼感を醸成するきっかけとし、政治、行政を「自分ごと」と捉える土壌を形成します。</p>	
目標	活動	<p>[数値目標]</p> <p>仕分け事業数:10事業(1班体制・2日)</p>
	目標	<p>住民が行政に対する理解を深めて当事者意識や信頼感を醸成するきっかけとし、政治、行政を「自分ごと」と捉える土壌を形成します。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	食糧費	154千円
	印刷製本費	18千円
	郵送料	152千円
	事業仕分け業務委託料	3,253千円
	(計)	3,577千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金3,000千円)	3,577千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
公共交通調査事業			本年度予算 4,920千円
(款) 2.総務費	(項) 1.総務管理費	(目) 7.企画費	前年度予算 4,857千円
企画公室 政策調整係 (企画公室 まちづくり推進係)		予算書 70ページ	(増減) 63千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備

内容	公共交通網を構築又は再編を検討するためコミュニティバス及びデマンドタクシーが運行していない地区を対象にニーズを把握するため巡回バスを運行し、調査を行います。	
	<p>[運行ルート] 柏木ルート／短野ルート／山崎・教良寺ルート 各ルート週1日の運行(1日3便)</p> <p>[運賃] 無料</p> <p>[事業期間] 令和3年度～</p>	
目的	調査結果を基に、今後の公共交通網の構築又は再編を多角的に検討することで、公共交通網の利便性向上を図ります。	
目標	活動	公共交通網の構築又は再編を検討するため、コミュニティバス等が運行していない地区を対象で巡回バスを運行することで、公共交通のニーズを把握します。
	目標	再編されたコミュニティバス及びデマンド運行で収集されたデータとともに今回の調査で得られるデータを集約・検証し、交通弱者支援を踏まえた多角的な公共交通網の構築又は再編を目指します。
成果	実績	
	課題等	

経費	郵送料	63千円
	公共交通調査業務委託料	4,248千円
	公共交通調査停留所設置委託料	609千円
	(計)	4,920千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金4,000千円)	4,920千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
ふるさとかつらぎ寄附金特産品送付事業			本年度予算 291,054千円
(款) 2.総務費	(項) 1.総務管理費	(目) 7.企画費	前年度予算 232,988千円
企画公室 地方創生係 (企画公室 まちづくり推進係)		予算書 70ページ	(増減) 58,066千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり		第1 地域特性を生かした農林業の展開

内容	ふるさとかつらぎ寄附金を1件5,000円以上寄附いただいた寄附者を対象に、寄附額に応じた地元特産品を送付します。 地元特産品の収集及び発送などの事務は、取扱事業者へ委託します。 [事業期間] 平成24年度 ~	
目的	ふるさとかつらぎ寄附金条例に基づく寄附金を一定金額以上寄附いただいた寄附者に対し、地元特産品等を贈呈し、感謝の意を表するとともに、ふるさとかつらぎ寄附金の推進を図り、地元特産品のPRを行います。	
目標	活動	地元特産品の数量拡大を目指します。 [数値目標] ・地元特産品の種類 (R2実績)350種類 → (R3見込)380種類 → (R4目標)400種類
	目標	寄附金額の前年度比アップを目指します。 [数値目標] ・寄附金額 (R2実績)315,765千円 → (R3見込)360,000千円 → (R4目標)390,000千円
成果	実績	
	課題等	

経費	ふるさとかつらぎ寄附金特産品送付業務委託料	212,236千円
	ふるさと納税支援業務委託料	60,113千円
	クレジットカード公金支払サービス利用料	5,251千円
	封入機	7,797千円
	その他事務費	5,657千円
	(計)	291,054千円
財源	ふるさとかつらぎ寄附金特産品	40,635千円
	一般財源	250,419千円
	【参考】ふるさとかつらぎ寄附金歳入予算額	390,000千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	花園地区テレワーク推進事業		本年度予算 3,898千円
(款)	2.総務費 (項) 1.総務管理費 (目) 11.支所費		前年度予算 0千円
	花園地域振興課 地域振興係	予算書 75ページ	(増減) 3,898千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第4 移住・定住施策の推進

内容	<p>花園地区においても、光回線が整備され、令和4年度からテレワークを実施することができるようになることに伴い、花園地区内の施設(花園支所、花園の里、キャンプ場など)に無料公衆無線LANを設置し、フリーWi-Fiエリアを整備します。</p> <p>[事業期間] 令和4年度 ~</p>
目的	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、国民の意識・行動の変容が見られ、東京圏への一極集中是正の動きが現れています。テレワークを地域に普及させ、仕事を創出することで、住み続けられる地域づくりを推進します。また、ワーケーションなど区域外からの滞在・移住の取組を推進することで、新しい人の流れを創出し、活力ある花園地区の実現を図ります。</p>
目標	<p>[活動内容]</p> <p>活動 花園地区内に無料公衆無線LANを設置し、フリーWi-Fiエリアを整備することで、花園地区においてテレワーク及びワーケーションを推進します。</p>
	<p>[目標]</p> <p>目標 無料公衆無線LAN設置 9か所 花園支所・旧花園図書館 はなぞの温泉「花園の里」・花園BASE 中南森林公園キャンプ場・北寺オートキャンプ場 新子キャンパーズパーク・花園グリーンパーク 金剛緑地ファミリーオートキャンプ場</p>
成果	実績
	課題等

経費	通信回線接続料	163千円
	花園地区Wi-Fi整備工事	3,488千円
	備品購入費	247千円
	(計)	3,898千円
財源	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金(国補助、3,168千円×1/3)	1,056千円
	和歌山県施設整備補助金(県補助、2,112千円×1/2)	1,056千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金1,400千円)	1,786千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	自治体オンライン手続対応(自治体DX推進事業)		本年度予算 5,500千円
(款) 2.総務費	(項) 1.総務管理費	(目) 13.電算管理費	前年度予算 0千円
管財情報課 情報推進係 (企画公室 情報推進係)		予算書 78ページ	(増減) 5,500千円
第6章 信頼される役所づくり		第1節 改革によるまちづくり	第1 行政運営の効率化

内容	<p>現在、各自治体においては、デジタル技術を活用した業務効率化を図り、住民の利便性など行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められています。</p> <p>このことを踏まえ、自治体オンライン手続に必要な連携サーバの新規導入及び環境整備を行います。</p> <p>事業実施により、マイナポータルと総合行政システムとの連携が可能となり、総合行政システム上で児童手当等の申請内容が確認できるようになります。</p> <p>なお、令和5年度以降、マイナポータルと連携した総合行政システムと各業務システムとの申請データの自動連携を目指します。</p> <p>[事業期間] 令和4年度～</p>	
	目的	<p>自治体のDX※を推進することにより、業務効率化を図ると共に、住民の利便性など行政サービスの更なる向上を図ります。</p> <p>※DX(デジタルトランスフォーメーション) デジタル技術を浸透・活用し、人々の生活をより良いものへと変革すること。</p>
目標	活動	自治体オンライン手続に必要な連携サーバの新規導入及び環境整備を行います。
	目標	自治体DXを推進することにより、業務効率化を図るとともに、住民の利便性など行政サービスの更なる向上を目指します。
成果	実績	
	課題等	

経費	自治体オンライン手続対応業務委託料	5,500千円
	(計)	5,500千円
財源	自治体オンライン手続推進事業補助金(国補助、5,500千円×1/2)	2,750千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金2,000千円)	2,750千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
コミュニティバス運行事業			本年度予算 32,447千円
(款) 2.総務費	(項) 1.総務管理費	(目) 18.コミュニティバス運行費	前年度予算 30,816千円
総務課 総務係		予算書 82ページ	(増減) 1,631千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備

内容	コミュニティバス3コースとデマンド型乗合タクシー5ルートの実行を行います。							
	<p>[コミュニティバス]</p> <p>①新城花園コース(4往復8便)毎日運行(12/31～1/3運休)</p> <p>②天野コース(5往復10便)毎日運行(12/31～1/3運休)</p> <p>③通院コース(3往復6便)月～土曜日運行(日祝、12/31～1/3運休)</p> <p>[デマンド型乗合タクシー]</p> <p>①四郷ルート(3往復6便) ②笠田西部ルート(3往復6便) ③妙寺ルート(3往復6便)</p> <p>④河南西ルート(3往復6便) ⑤河南東ルート(3往復6便)</p> <p>[料金共通]</p> <p>大人(中学生以上)200円(障害者及びその介護者、高校生以下の生徒は半額)</p> <p>小人(小学生以下)100円(障害者は半額、6歳未満の幼児は無料)</p> <p>※乗り継ぐ場合は、「乗継券」で無料</p> <p>[事業期間] 平成14年度 ～</p>							
目的	公共交通空白地の解消及び高齢者などの交通弱者の買物や通院といった日常生活のための交通手段として運行します。また、利便性の向上と効率的な運行を図るとともに更なる利用促進に努めることで、利用者の増加につなげ持続可能な公共交通ネットワークを構築します。							
目標	活動	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の整備により、高齢者の自立した生活を支援します。 町内JR主要駅と接続することでJR和歌山線の利用者の増加を図ります。 						
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい経路や時刻設定により、利用者の増加を目指します。 <p>年間総乗車人数(目標)</p> <table border="0"> <tr> <td>コミュニティバス</td> <td>12,000人/年以上</td> <td>(R3見込)約 9,600人/年</td> </tr> <tr> <td>デマンド型乗合タクシー</td> <td>2,000人/年以上</td> <td>(R3見込)約 1,600人/年</td> </tr> </table>		コミュニティバス	12,000人/年以上	(R3見込)約 9,600人/年	デマンド型乗合タクシー	2,000人/年以上
コミュニティバス	12,000人/年以上	(R3見込)約 9,600人/年						
デマンド型乗合タクシー	2,000人/年以上	(R3見込)約 1,600人/年						
成果	実績							
	課題等							

経費	かつらぎ町コミュニティバス運営委員会委員報償費	228千円
	コミュニティバス運行補助金	23,176千円
	デマンド交通運行補助金	8,900千円
	その他事務費	143千円
	(計)	32,447千円
財源	一般財源(運行補助金の80%が特別交付税の対象)	32,447千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
志賀地域交流センター整備事業			本年度予算 95,260千円
(款) 2.総務費	(項) 1.総務管理費	(目) 21.地域交流センター整備事業費	前年度予算 4,696千円
総務課 総務係		予算書 83ページ	(増減) 90,564千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第3節 支え合うまちづくり	第4 コミュニティ活動の活性化

内容	<p>休館中の志賀ふれあい会館を地域交流センターに改修し、地域住民の自主的な地域活動や、文化・学習活動、世代間の交流を促進し、地域の活性化につながる施設を目指します。</p> <p>[事業期間] 令和3年度 ~ 令和4年度</p>	
	<p>志賀地域の拠点として将来にわたって地域活動を続けていくことができる施設とするために志賀ふれあい会館を改修し、地域の活性化を図ります。</p>	
目的	活動	地域コミュニティ活動の拠点となる施設の整備工事を行います。
	目標	地域の活性化につながる施設に整備します。
成果	実績	
	課題等	

経費	建築確認手数料	54千円
	浄化槽水質検査料	15千円
	志賀地域交流センター整備工事監理業務委託料	2,461千円
	志賀地域交流センター整備工事	92,730千円
	(計)	95,260千円
財源	空き家対策総合支援事業補助金(国補助、95,191千円×1/2)	47,595千円
	合併特例事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	45,200千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金2,000千円)	2,465千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	航空写真撮影及び地理情報システム改修業務委託		本年度予算 14,192千円
(款) 2.総務費	(項) 2.徴税費	(目) 1.税務賦課徴収費	前年度予算 0千円
税務課 固定資産税係		予算書 85ページ	(増減) 14,192千円
第6章 信頼される役所づくり		第1節 改革によるまちづくり	第2 財政の健全化

内 容	<p>【航空写真撮影】 令和6年度の評価替えに向け、町全域の航空写真を撮影します。なお、撮影方法は近隣自治体との共同撮影を予定しています。航空写真の精度については、一般社団法人資産評価システム研究センターの推奨するレベル1000(縮尺1/1000)での撮影となります。</p> <p>【地理情報システムの改修】 航空写真の載せ替えに併せ、地理情報システムを改修します。</p> <p>[事業期間] 令和4年度</p>
	<p>令和6年度の評価替えに際して、最新の航空写真で土地の現況、家屋の立地状況、土地の利用状況及び滅失家屋の確認を行うことで、公正・公平に課税します。</p>
目 標	<p>活動</p> <p>近隣自治体との共同撮影は、単独撮影よりも費用の低減が可能となります。 令和4年度に航空写真の撮影及び地理情報システム改修業務委託契約を行い、撮影を実施します。併せて、同システムのリース料の契約を行います。</p>
	<p>目標</p> <p>[目 標] 撮影エリア→町全域 151.69km² [維持管理費] 地理情報システムリース料→5年間 6,020千円</p>
成 果	実績
	課題等

経 費	航空写真撮影業務委託料	13,639千円
	地理情報システム改修業務委託料	252千円
	地理情報システムリース料	301千円
	(計)	14,192千円
財 源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金12,000千円)	14,192千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	証明書コンビニ交付サービス事業		本年度予算 436千円
(款) 2.総務費	(項) 3.戸籍住民基本台帳費	(目) 1.戸籍住民基本台帳費	前年度予算 0千円
住民福祉課 住民係		予算書 88ページ	(増減) 436千円
第6章 信頼される役所づくり		第1節 改革によるまちづくり	第1 行政運営の効率化

内容	<p>マイナンバーカードを利用して、町が発行する住民票の写し及び印鑑登録証明書を全国のコンビニエンスストア等(約5万5千店舗)のキオスク端末(マルチコピー機)から取得できるサービスを提供します。</p> <p>役場閉庁時や町内外に関わらず、全国のコンビニエンスストアなどで証明書等を受け取ることが可能となり、住民の利便性の向上につながります。</p> <p>[事業期間] 令和4年度 ~</p>		
目的	コンビニ交付サービスを行うことにより、住民の利便性の向上を図ります。		
目標	活動	<p>マイナンバーカードを利用して、住民票の写し及び印鑑登録証明書をコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末から取得できるサービスを提供します。</p> <p>また、町広報等による周知に努めます。</p> <p>サービス提供開始 令和4年4月1日</p>	
	目標	<p>年間実績 360件(30件×12ヶ月)</p> <p>住民票 240件</p> <p>印鑑登録証明書 120件</p>	
成果	実績		
	課題等		

経費	証明書等自動交付サービス手数料	43千円
	コンビニ交付データ連携システム保守料	328千円
	証明発行機能利用料	65千円
	(計)	436千円
財源	一般財源	436千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
国城寮建替事業(伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合)			本年度予算 420,797千円
(款) 3.民生費	(項) 1.社会福祉費	(目) 3.老人福祉費	前年度予算 44,684千円
健康推進課 長寿社会係		予算書 101ページ	(増減) 376,113千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第2節 いきいきと暮らせるまちづくり		第2 高齢者福祉の充実

内容	<p>伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合が設置・運営を行う国城寮については、建築後約50年経過し老朽化が進んでいる現状です。 増改築や修繕を繰り返してきましたが、修繕箇所が多く発生しており、加えて建築基準法に基づく新耐震基準による設計でないため耐震性の課題があります。 これらを踏まえ、国城寮の現状分析、将来需要推計等を協議した結果、建て替えをすることが合理的と判断し、実施するものです。</p> <p>[事業期間] 令和3年度～令和5年度 [総事業費] 3,165,617千円</p> <p>[令和4年度町負担額] 420,797千円 (R4負担割合: 財政割23.33%+人口割19.11%)</p>	
	目的	老朽化した国城寮(養護老人ホーム・特別養護老人ホーム)の建て替えを行い、橋本・伊都地域の老人福祉の向上を図るとともに、特養入所待機者への対応・養護(措置)の受け入れ対応の充実を目指します。
目標	活動	令和3年度 基本設計・実施設計・用地造成 令和4年度～令和5年度 建築工事
	目標	令和5年9月工事完了予定 令和5年11月開所式予定 令和5年12月新施設開所・引越し予定
成果	実績	
	課題等	

経費	伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合負担金(国城寮建て替え分)	420,797千円
	(計)	420,797千円
財源	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	318,700千円
	一般財源	102,097千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
人権啓発推進事業			本年度予算 2,051千円
(款) 3.民生費	(項) 1.社会福祉費	(目) 15.人権推進費	前年度予算 2,432千円
生涯学習課 社会教育係		予算書 109ページ	(増減) △381千円
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり	第3節 互いを尊重し合うまちづくり		第2 人権啓発の推進

内容	<p>一人ひとりが人権を尊重し、お互いを思いやる心、違いを認め合う心を育むため、様々な団体と連携し、人権啓発を推進します。</p> <p>①人権啓発推進委員会は、自ら研修等で学ぶとともに、人権啓発活動を行います。</p> <p>②かつらぎ町の女性による人権と平和を推進する会(WHP)の活動に補助金を支出し、研修の開催や、啓発活動を行います。</p> <p>③人権フェスティバル事業として、様々なテーマの人権研修を公民館等で開催し、町内全域における人権尊重の機運向上を目指します。また、小中高校生及び一般を対象に人権作文・ポスターを募集することで人権問題を考える機会を設けるとともに、入賞作品集を作成し人権啓発資料として活用します。</p> <p>[事業期間] 平成26年度～</p>	
	目的	町民への人権啓発及び人権意識の向上を目的とし、人権尊重社会の実現を目指します。
目標	活動	<p>①人権啓発推進委員会:町内こども園・幼稚園での人権紙芝居活動、研修会の実施など。</p> <p>②WHP(補助金):人権研修開催1回、啓発活動。</p> <p>③人権フェスティバル事業:人権研修11回、人権啓発グッズの作成、啓発活動。 人権作文・ポスターの募集及び表彰。 作品集(500冊)、ポスター(100枚)の作成。</p>
	目標	町民が人権を意識し、気軽に学習できる機会を作ります。様々な関係団体と連携することで、かつらぎ町全体で人権について取り組む体制を築きます。
成果	実績	
	課題等	

経費	人権啓発推進委員会委員報償費	330千円
	人権講座講師謝金	330千円
	人権推進月間優秀者記念品	112千円
	人権啓発グッズ作成業務委託料	50千円
	啓発教材	73千円
	かつらぎ町の女性による人権と平和を推進する会補助金	150千円
	その他事務費	1,006千円
	(計)	2,051千円
財源	人権啓発市町村助成事業補助金(県補助、1,458千円×1/2)	729千円
	一般財源	1,322千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新規	保育士等処遇改善臨時特例事業補助金		本年度予算 7,320千円
(款)	3.民生費 3.民生費 3.民生費 10.教育費	(項) 2.児童福祉費 2.児童福祉費 2.児童福祉費 4.幼稚園費	(目) 1.児童福祉総務費 6.こども園運営費 8.児童健全育成事業費 1.幼稚園総務費
教育総務課 子育て係		予算書	111ページ 115ページ 116ページ 199ページ (増減) 7,320千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第3節 支え合うまちづくり	第1 出産・子育て環境の充実

内容	<p>令和3年度国の経済対策において、令和4年2月から前倒しで教育・保育施設等に勤務する保育士・幼稚園教諭及び放課後児童支援員等(以下、保育士等)の処遇改善が実施されることとなりました。</p> <p>これに基づき、教育・保育施設等が保育士等の賃上げ効果を継続させる取組を行うことを前提として、収入を3%程度(月額9,000円)引き上げるために必要な経費を補助します。</p> <p>令和4年4月から9月の間は、令和3年人事院勧告に伴う公定価格の減額分(人件費△0.9%)に対応する金額を併せて補助します。</p> <p>[補助期間] 令和4年2月～9月(令和4年2・3月分については令和3年度3月補正対応) [負担割合] 国補助100% [事業期間] 令和3年度～令和4年度</p>
目的	新型コロナウイルス感染症や少子高齢化等に対する対応が重なる最前線において働く保育士等の処遇改善のための取組を推進することを目的とします。
目標	活動 賃金改善を行うこども園・聖心幼稚園・ひまわりキッズ・SnowMomに対して、改善を行うための経費を補助します。
	目標 令和4年10月以降も、公定価格改正等による処遇改善を継続して実施するよう努めます。
成果	実績
	課題等

経費	超勤手当	200千円
	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金(こども園運営費)	5,859千円
	放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業補助金(児童健全育成事業費)	891千円
	保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金(幼稚園総務費)	370千円
	(計)	7,320千円
財源	保育士等処遇改善臨時特例交付金(民生費国補助、6,950千円×10/10)	6,950千円
	保育士等処遇改善臨時特例交付金(教育費国補助、370千円×10/10)	370千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	学童保育施設運営事業		本年度予算 51,344千円
(款) 3.民生費	(項) 2.児童福祉費	(目) 8.児童健全育成事業費	前年度予算 0千円
教育総務課 子育て係		予算書 116ページ	(増減) 51,344千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第3節 支え合うまちづくり	第1 出産・子育て環境の充実

内容	<p>保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、適切な遊びの場や生活の場を提供し、健全な育成を図るための放課後児童健全育成施設を指定管理制度により運営します。</p> <p>[運営施設] ・笠田学童保育施設 ・妙寺学童保育施設</p> <p>[事業期間] 令和4年度 ～ 令和8年度</p>	
	目的	放課後等の児童の安心・安全な居場所確保と健全育成を図り、子育てしやすい環境を整えます。
目標	活動	放課後児童健全育成事業及び延長利用 ・18時30分から19時00分までの延長利用の実施
	目標	安心して子育てできる環境の充実及びワーク・ライフ・バランスの推進を図り、子育て世代の定住を促進します。
成果	実績	
	課題等	

経費	学童保育施設運営委託料	51,344千円
	(計)	51,344千円
財源	子ども・子育て支援交付金事業補助金(国補助金、37,719千円×1/3)	12,573千円
	子ども・子育て支援交付金事業補助金(県補助金、37,719千円×1/3)	12,573千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金12,000千円)	26,198千円

【一般会計】

事業区分		町自主事業
新規	がん検診受診料自己負担無料化事業	本年度予算 39,397千円
(款) 4.衛生費	(項) 1.保健衛生費 (目) 2.予防費	前年度予算 34,990千円
健康推進課 衛生係		(増減) 4,407千円
予算書 121ページ		
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり	第2 病気の予防

内容	20歳から69歳の町民ががん検診を受診する際に発生している受診料の自己負担について、令和4年度から無料化します。がん検診の受診を促進することで、がんを早期発見します。 [受診料自己負担額] 令和3年度以前 令和4年度以降						
		個別検診	集団検診		個別検診	集団検診	
	胃がん検診	3,000円	400円				
	肺がん検診	500円	200円				
	肺がん(喀痰)検診	1,000円	1,000円				
	大腸がん検診	600円	100円	→	全額無料化		
	乳がん検診	1,000円	600円				
	子宮頸がん検診	1,000円	—				
	前立腺がん検診	500円	150円				
	[事業期間] 令和4年度 ~						
目的	がん検診の受診を促進することで、がんの早期発見を図り、町民が健康に暮らせるまちづくりを実現します。						
目標	活動	町民が無料で受診できる集団検診を開催します。 また、町民が個別に医療機関でがん検診を受診する際の受診料については、町が医療機関に対し、がん検診委託料として支払います。					
	目標	がん検診に係る受診料自己負担を無料化し、がん検診の受診率の向上に努めます。					
		胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん	前立腺がん
	令和2年度(実績)	10.7%	21.3%	20.4%	18.4%	17.9%	20.3%
	令和3年度(11月末時点)	10.0%	17.8%	18.0%	13.2%	12.8%	18.0%
	令和4年度(目標)	17.4%	28.7%	26.8%	24.1%	21.6%	28.6%
成果	実績						
	課題等						

経費	各種がん検診委託料(集団)	8,000千円
	各種がん検診委託料(個別)	29,697千円
	肺がんCT検診委託料(個別)	1,700千円
	(計)	39,397千円
財源	一般財源	39,397千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
下志賀地区飲料水供給施設整備事業			本年度予算 42,782千円
(款) 4.衛生費	(項) 1.保健衛生費	(目) 3.環境衛生費	前年度予算 800千円
健康推進課 衛生係		予算書 124ページ	(増減) 41,982千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり		第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内容	<p>下志賀地区の飲料水は、谷川からの取り水や各戸で設置した井戸水が中心となっており、飲料水の供給が不安定な状況です。また、長年にわたり飲料水供給施設の設置が要望されています。</p> <p>これらを踏まえ、下志賀地区へ飲料水供給施設を設置します。</p> <p>なお、工事は複数年で実施し、完了後は地域からの要望を踏まえ、町で施設を管理します。</p> <p>[計画給水人口] 84人 [事業期間] 令和3年度 ~</p>	
	<p>住民にとって大切なライフラインである飲料水供給施設を整備し、安全・安心な生活を実現します。</p>	
目的	活動	<p>[活動内容]</p> <p>令和3年度 水源調査 令和4年度 基本設計・詳細設計・補助金申請業務 令和5年度以降 整備工事</p>
	目標	<p>令和5年度以降の工事着手を目指し、基本設計、詳細設計及び国庫補助金確保に努めます。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	下志賀地区飲料水供給施設整備工事設計業務委託料	42,600千円
	和歌山県水道協会特別分担金	182千円
	(計)	42,782千円
財源	水道未普及地域解消事業補助金(国補助、42,600千円×40%)	17,040千円
	辺地対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は20%)	24,200千円
	一般財源	1,542千円

【一般会計】

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	上志賀地区水道施設補助金		本年度予算 1,489千円
(款) 4.衛生費	(項) 1.保健衛生費 (目) 3.環境衛生費		前年度予算 0千円
健康推進課 衛生係		予算書 124ページ	(増減) 1,489千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内容	<p>上志賀地区の飲料水供給施設は、老朽化が進んでおり、いつ汲み上げ用ポンプが停止するかわからない状況です。また、令和2年度の冬季には水源が濁水し、近隣の組合から給水を受ける状況となりました。</p> <p>安定して飲料水を供給するため、令和4年度に工事を実施することに伴い、「かつらぎ町飲料水供給施設整備事業補助金交付要綱」に基づき、当該工事費の2分の1を補助します。</p> <p>[事業期間] 令和4年度</p>	
	<p>補助金交付要綱に基づき工事費の2分の1を補助することで、上志賀地区の安定した飲料水供給に寄与します。</p>	
目標	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・工事費 飲料水供給施設ポンプ増設工事 1,837,000円 冬季断水対策取水工事 1,139,298円 ・補助額 (1,837,000円+1,139,298円) × 1/2 = 1,488,149円
	目標	上志賀地区の飲料水の安定供給
成果	実績	
	課題等	

経費	上志賀地区水道施設補助金	1,489千円
	(計)	1,489千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金1,000千円)	1,489千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	齋場施設修繕事業		本年度予算 1,823千円
(款) 4.衛生費	(項) 1.保健衛生費	(目) 7.齋場管理費	前年度予算 0千円
環境課 住民環境係 (住民福祉課 生活環境係)		予算書 128ページ	(増減) 1,823千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第1節 環境にやさしいまちづくり		第2 クリーンなまちづくりの推進

内容	かつらぎ齋場は業務開始から約30年を経過し、老朽化していることから、計画的な修繕等を行います。	
	[修繕内容] ・休憩棟和室(障子・フスマの張り替え) ・霊安室(壁クロス張り替え) ・炉前ホール(壁クロス張り替え・照明球取り換え) ・事務所(壁クロス張り替え) ・待合ホール(椅子・テーブル新調) [事業期間] 令和4年度	
目的	齋場施設の修繕等を計画的に行うことで、適切な施設の維持管理を図り、訪れる方々に安らいで過ごしてもらえる環境を整えます。	
目標	活動	障子・フスマ・壁クロスの張り替え及び照明球の取り替えを行い、ロビーに設置するテーブルや長椅子の新調を行います。
	目標	適切かつ計画的な齋場施設の維持管理を実施し、効果的・効率的な施設運営を図ります。また、齋場利用者の利便性の向上に努めます。
成果	実績	
	課題等	

経費	修繕費	825千円
	机	218千円
	椅子	780千円
	(計)	1,823千円
財源	一般財源	1,823千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	かつらぎ霊園階段新設事業		本年度予算 1,499千円
(款) 4.衛生費	(項) 1.保健衛生費 (目) 7.斎場管理費		前年度予算 0千円
環境課 住民環境係 (住民福祉課 生活環境係)		予算書 128ページ	(増減) 1,499千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第1節 環境にやさしいまちづくり	第2 クリーンなまちづくりの推進

内容	現在、霊園北側の3団地のうち、上段2団地には東側町道からの階段が設置されていますが、新たに霊園北側の下段1団地に、東側町道からの階段を設置します。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・延長6.4m ・幅1.5m ・階段数20段 [事業期間] 令和4年度	
目的	階段を新たに設置することで霊園利用者の利便性の向上を図ります。	
目標	活動	霊園北側の3団地のうち下段1団地目に、東側町道からの階段を設置します。
	目標	早期完成及び供用を目指します。
成果	実績	
	課題等	

経費	かつらぎ霊園階段新設工事	1,499千円
	(計)	1,499千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金1,000千円)	1,499千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新型コロナウイルス感染症相談総合窓口設置事業			本年度予算 5,096千円
(款) 4.衛生費	(項) 1.保健衛生費	(目) 8.新型コロナウイルス感染症対策費	前年度予算 4,757千円
健康推進課 衛生係		予算書 129ページ	(増減) 339千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第2 病気の予防

内容	<p>新型コロナウイルス感染症に係る国・県・町の施策に関する町民からの相談や質問に、総合的に対応する窓口として、新型コロナウイルス感染症対策総合窓口を設置しています。</p> <p>令和3年度は「地域振興クーポンの交換事務」「給付金申請事務」「補助金申請事務」などについて、関係課室と連携し、運営しています。</p> <p>令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症対策に係る施策は継続が予想されるため、引き続き窓口を設置します。</p> <p>[事業期間] 令和2年度 ~</p>	
	町民からの相談を総合的かつ早急に対応することにより、安全・安心な住民生活に寄与します。	
目標	活動	会計年度任用職員を2名採用し、新型コロナウイルス感染症相談総合窓口を設置します。
	目標	新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせ窓口を一元化することで、町民からの相談に対して、総合的かつ早急な対応を可能とします。
成果	実績	
	課題等	

経費	会計年度任用職員報酬・手当等	4,925千円
	消耗品費	50千円
	広告料	121千円
	(計)	5,096千円
財源	会計年度任用職員雇用保険個人負担金(雑入)	12千円
	一般財源	5,084千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業			本年度予算 44,696千円
(款) 4.衛生費	(項) 1.保健衛生費	(目) 8.新型コロナウイルス感染症対策費	前年度予算 98,159千円
健康推進課 衛生係		予算書 129ページ	(増減) △ 53,463千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第1節 健康に暮らせるまちづくり	第2 病気の予防

内容	<p>新型コロナウイルスワクチンの追加(3回目)接種について、ワクチンの接種体制を整え、円滑に町民への接種を行います。また、初回接種についても、9月まで体制を継続する予定です。</p> <p>[実施方法] 医療機関で行う個別接種 接種会場を設定しての集団接種</p> <p>[接種対象] 追加接種：2回目接種から一定期間経過した18歳以上の者 初回接種：12歳以上の者 小児接種：5～11歳の者</p> <p>[接種件数(見込)] 約10,000件 [事業期間] 令和2年度～</p>	
	<p>新型コロナウイルスワクチンを安全かつ迅速に接種することができる環境を整えることにより、町民が安心・安全に暮らせるまちづくりを実現します。</p>	
目標	活動	<p>[活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチンの接種体制の整備 ・接種対象の町民への接種券の発送 ・集団及び個別接種の予約管理
	目標	ワクチン接種率 90%以上を目指します。
成果	実績	
	課題等	

経費	医師・看護師・薬剤師報償費	3,660千円
	新型コロナウイルスワクチン接種委託料	24,948千円
	医療廃棄物処理委託料	99千円
	新型コロナウイルスワクチン接種体制整備業務委託料	6,300千円
	ワクチン接種用備品	100千円
	その他事務費	9,589千円
	(計)	44,696千円
財源	新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金(国補助、28,975千円×10/10)	28,975千円
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金(国補助、12,999千円×10/10)	12,999千円
	会計年度任用職員雇用保険個人負担金(雑入)	6千円
	一般財源	2,716千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	地球温暖化対策実行計画策定事業		本年度予算 836千円
(款)	4.衛生費	(項) 2.清掃費	(目) 1.清掃総務費
環境課 住民環境係 (住民福祉課 生活環境係)		予算書 130ページ	(増減) 836千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第1節 環境にやさしいまちづくり	第2 クリーンなまちづくりの推進

内容	<p>国のカーボンニュートラルへの方針として、2030年には温室効果ガス排出量を46%削減(2013年度比)する目標が掲げられ、省エネルギー・再生可能エネルギーが推進されることとなっています。</p> <p>これらを踏まえて、専門的知識を有するコンサルタント等の支援の下、過去のデータ等の把握をし、現状の温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の推定等に必要な情報収集・整理を行い、地球温暖化対策実行計画を策定します。</p> <p>[事業期間] 令和4年度</p>
	<p>地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき計画を策定し、温室効果ガスの排出抑制等のための施策を推進します。</p>
目標	<p>活動</p> <p>最新の算定方法を用いたデータに基づく実効性のある計画策定を行います。</p>
	<p>目標</p> <p>関係部局と連携し、温室効果ガスの削減に向けた取組みを推進します。</p>
成果	<p>実績</p>
	<p>課題等</p>

経費	環境保全審議会委員報酬	133千円
	食糧費	4千円
	郵送料	399千円
	地球温暖化対策実行計画策定支援業務委託料	300千円
	(計)	836千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金200千円)	836千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	病害虫防除対策事業		本年度予算 5,000千円
	(款) 6.農林水産業費	(項) 1.農業費	(目) 4.園芸振興費
	産業観光課 農業振興係	予算書 138ページ	前年度予算 0千円
			(増減) 5,000千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内容	<p>県補助事業である「病害虫防除対策事業」を実施する農業者及び団体に対し、補助金を交付します。</p> <p>[町補助額] 伐採・抜根 定額:30,000円/本 伐採・根覆い 定額:20,000円/本 ネット被覆 定額: 2,000円/本</p> <p>[事業期間] 令和3年度 ~</p>	
	<p>病害虫であるクビアカツヤカミキリが町内に侵入し、農作物に甚大な被害を及ぼしています。栽培者が行う病害虫の防除対策に対し、支援を実施することで農家経営の安定に寄与します。</p>	
目標	活動	JA紀北川上や伊都振興局との連携を深め、広報等による本事業の周知に努めます。
	目標	本事業の活用により、対象となる樹木に対して、適切な被害防除の実施を促します。
成果	実績	
	課題等	

経費	病害虫防除対策事業補助金	5,000千円
	(計)	5,000千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金4,000千円)	5,000千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	地域振興施設改修工事		本年度予算 1,485千円
(款) 6.農林水産業費	(項) 1.農業費	(目) 7.地域振興施設管理費	前年度予算 0千円
産業観光課 農業振興係		予算書 139ページ	(増減) 1,485千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内容	かつらぎ西PA上り線地域振興施設において、売場面積を拡張するため、中庭部分を店舗として改修します。 [事業期間] 令和4年度	
	施設利用者、出荷者から売場面積が小さいため、売り場を拡張してほしいとの要望があり、施設運営者においても、今後の施設利用者を増加させるためには、売り場の拡張が必要との考えを持っていることから、施設の改修を行い、より一層の施設の利用促進を図ります。	
目標	活動	かつらぎ西PA上り線中庭部分の約64.0㎡を店舗として増築するための改修を行います。
	目標	
成果	実績	
	課題等	

経費	建築確認手数料	24千円
	地域振興施設改修工事設計業務委託料	1,461千円
	(計)	1,485千円
財源	一般財源(うち、かつらぎ西パーキングエリア上り線地域振興施設整備基金繰入金1,400千円)	1,485千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
農作物鳥獣害防止総合対策事業			本年度予算 15,668千円
(款) 6.農林水産業費	(項) 1.農業費	(目) 9.耕作放棄地対策推進事業費	前年度予算 25,700千円
産業観光課 産業観光課	林業振興係 農業振興係	予算書 141ページ	(増減) △ 10,032千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり		第1 地域特性を生かした農林業の展開

内容	有害鳥獣の増加を抑制し、農作物を守るため、有害鳥獣の捕獲や防護柵設置等に関する取り組みを行います。	
	[事業期間] 平成23年度 ~	
目的	農作物等への被害を防止するとともに、適正な有害鳥獣の捕獲の実施を目的としています。	
目標	活動	対象者に対して、広報等により本事業の周知徹底に努めます。
	目標	[数値目標] 有害鳥獣等捕獲数 イノシシ 618頭・ニホンジカ 167頭・アライグマ 250頭 狩猟免許の新規取得者 10名 防護柵設置数 4件
成果	実績	
	課題等	

経費	鳥獣被害対策実施隊報酬等	1,093千円
	有害鳥獣捕獲業務委託料	300千円
	狩猟免許取得支援事業補助金(単独分)	100千円
	狩猟免許取得支援事業補助金(県補助分)	100千円
	防護柵設置支援事業補助金	1,260千円
	有害鳥獣捕獲支援事業補助金	12,355千円
	わな設置支援事業補助金(国補助分)	460千円
	(計)	15,668千円
財源	防護柵設置支援事業補助金(県補助、1,890千円×1/3)	630千円
	狩猟免許取得支援事業補助金(県補助、10千円×10人)	100千円
	有害鳥獣捕獲事業等補助金(県補助、3,139千円×10/10)	3,139千円
	鳥獣被害防止総合対策事業補助金(県補助、3,428千円×10/10)	3,428千円
	一般財源	8,371千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
地域おこし協力隊事業(援農・就農、移住支援業務)			本年度予算 4,342千円
(款) 6.農林水産業費	(項) 1.農業費	(目) 13.地域おこし支援費	前年度予算 3,792千円
産業観光課 農業振興係		予算書 143ページ	(増減) 550千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第4 移住・定住施策の推進

内容	3大都市圏をはじめとする都市住民を地域おこし協力隊として委嘱し、「地域協力活動」を展開し、地域活性化につなげます。	
	[活動内容] 援農・就農、移住支援 [事業期間] 令和2年度 ~ 令和5年度	
目的	人口減少や高齢化等の著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、援農・就農、移住支援の業務を実施することで、地域力の維持・強化とともに、当該人材の定住・定着を図ります。	
目標	活動	[活動内容] ・援農隊と受入農家とのマッチング ・宿泊場所の準備等、援農隊の活動の支援 ・援農隊の移住支援
	目標	季節に応じた農業の活動に応じて援農隊がかつらぎ町に来やすい環境を整えます。援農活動を機にかつらぎ町に興味を持った方が移住に発展しやすいよう、環境を整えます。
成果	実績	
	課題等	

経費	地域おこし協力隊報償費	2,400千円
	職員旅費	68千円
	車リース料	660千円
	地域おこし協力隊活動用備品	260千円
	地域おこし協力隊活動交付金	564千円
	その他事務費	390千円
	(計)	4,342千円
財源	一般財源(全額が特別交付税の対象)	4,342千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	土地改良施設維持管理適正化事業(七郷井負担金)		本年度予算 1,300千円
(款)	6.農林水産業費	(項) 1.農業費	(目) 14.農地総務費
	建設課 総務係 (建設課 事務係)	予算書	145ページ
			(増減) 1,300千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内容	七郷井の町道沿いの安全対策及び水路改修について、土地改良施設維持管理適正化事業で実施する七郷井水路工事の負担金として工事費の20%相当額を負担します。 [事業期間] 令和4年度	
	水路改修を行うことで護岸崩壊を未然に防ぎ、道路の安全性の確保を図ります。	
目的	[事業区間] 水路改修工事 L=15m (大字新田地内) [事業費] 6,500千円×20%	
	七郷井の機能保持及び道路の安全対策を図ります。	
成果	実績	
	課題等	

経費	土地改良施設維持管理適正化事業負担金	1,300千円
	(計)	1,300千円
財源	一般財源	1,300千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
農村地域防災減災事業費 (ため池劣化状況評価・豪雨耐性評価業務委託)			本年度予算 4,900千円
(款) 6.農林水産業費	(項) 1.農業費	(目) 16.農村地域防災減災事業費	前年度予算 5,000千円
建設課 管理係		予算書 146ページ	(増減) △100千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化

内容	農業用ため池のうち決壊により周辺区域に人的被害が及ぶことが懸念される防災重点農業用ため池について、劣化及び豪雨による決壊の危険性を評価します。	
	<p>[事業費] 5池 4,900千円 高田:高田大池 東渋田:東渋田大池 下天野:田中池 中飯降:上七ツ池 西渋田:森本池2</p> <p>[負担割合] 県費100%</p> <p>[事業期間] 令和3年度 ~ 令和5年度(全体計画33池)</p>	
目的	災害から住民の生命及び財産を保護するため、防災重点農業用ため池の劣化状況評価・豪雨耐性評価を実施します。	
目標	活動	浸水想定区域内に公共施設等が多く該当する池から順に評価を実施します。
	目標	劣化状況評価・豪雨耐性評価の結果を踏まえ、防災減災の推進を図ります。
成果	実績	
	課題等	

経費	ため池劣化状況評価・豪雨耐性評価業務委託料	4,900千円
	(計)	4,900千円
財源	農村地域防災減災事業補助金(県補助、4,900千円×10/10)	4,900千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
農村地域防災減災事業(県営ため池改修事業)			本年度予算 550千円
(款) 6.農林水産業費	(項) 1.農業費	(目) 16.農村地域防災減災事業費	前年度予算 5,500千円
建設課 管理係		予算書 146ページ	(増減) △ 4,950千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化

内容	<p>六人池の堤体(堤高8.5m提頂巾2.3m提頂長77.0m)等の部分改修を県が行います。令和4年度に測量設計を行い、令和5年度から改修工事を予定しています。</p> <p>[事業費] 令和4年度 11,000千円 町負担金 550千円(総事業費の5%) [負担割合] 国55%・県40%・町2.5%・地元2.5% [事業期間] 令和4年度 ~ 令和6年度</p>	
	<p>近く発生が予測される東海・東南海・南海地震及び近年頻発している台風や集中豪雨等による決壊を未然に防ぎます。</p>	
目標	活動	県が実施する六人池改修事業に対し、負担金を支出します。
	目標	ため池を改修することにより、下流域への被災を防止します。
成果	実績	
	課題等	

経費	ため池改修事業負担金	550千円
	(計)	550千円
財源	ため池改修事業負担金	275千円
	公共事業等債(借入金、返済額のうち町負担は55%)	200千円
	一般財源	75千円

【一般会計】

		事業区分	町自主事業
新規	経営管理業務委託料		本年度予算 5,500千円
(款) 6.農林水産業費	(項) 2.林業費	(目) 1.林業総務費	前年度予算 0千円
産業観光課 林業振興係		予算書 147ページ	(増減) 5,500千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 環境にやさしいまちづくり	第1 自然環境の保全と活用

内容	所有者から経営・管理を希望された森林について、所有者の同意のもと町が作成した経営管理集積計画に基づき、一定期間の間伐や見回り、風倒木整理等を林業事業者に委託します。 [事業期間] 令和4年度 ~	
	林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進を図り、林業の持続的発展や森林の多面的機能の発揮に寄与します。	
目的	活動	集積計画を作成した土地について、測量・見回り及び風倒木の整理を行います。 ①測量…翌年度の間伐に向けた測量を行います。 ②見回り…風倒木被害がないか等、年に1回程度の見回りをを行います。 ③風倒木整理…集積計画対象地域で風倒木の被害が確認された場合、伐採や倒木整理などを行います。
	目標	手入れが行き届いていない森林が増える事により、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されなくなってしまうおそれがあります。意向調査を実施する事により、自ら経営できない森林所有者から経営管理を受託する事が可能となり、災害等のリスクを軽減します。 [目標] ・見回り及び間伐実施に伴う測量:80ha
成果	実績	
	課題等	

経費	経営管理業務委託料	5,500千円
	(計)	5,500千円
財源	一般財源(森林環境譲与税充当対象)	5,500千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
地域おこし協力隊事業			本年度予算 10,293千円
(款) 6.農林水産業費	(項) 2.林業費	(目) 6.山村地域おこし支援費	前年度予算 3,228千円
産業観光課 林業振興係		予算書 150ページ	(増減) 7,065千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第4 移住・定住施策の推進

内容	3大都市圏をはじめとする都市住民を地域おこし協力隊として委嘱し、「地域協力活動」を展開し、地域活性化につなげます。 [配属状況] 天野地区 1名 [令和4年度採用予定] 四郷地区・新城地区 各1名 [事業期間] 平成22年度 ~	
	地域外の人材を誘致し、地域おこしを推進することにより、地域経済の活性化、地域力の維持・強化とともに、当該人材の定住・定着を図ります。	
目標	活動	四郷・新城地区において、新たに地域おこし協力隊を募集します。 [活動内容] ・各地区の実情に応じた課題の解決に係る活動を行います。
	目標	地域おこし協力隊の活動を通じ、地域課題を解決することにより、地域力の維持・強化を図ります。
成果	実績	
	課題等	

経費	地域おこし協力隊報償費	6,800千円
	職員旅費	225千円
	車リース料	1,210千円
	地域おこし協力隊活動用備品	60千円
	地域おこし協力隊活動交付金	1,297千円
	その他事務費	701千円
	(計)	10,293千円
財源	一般財源(全額が特別交付税の対象)	10,293千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新規	地域おこし協力隊事業(テレワーク推進)		本年度予算 3,488千円
(款) 6.農林水産業費	(項) 2.林業費	(目) 6.山村地域おこし支援費	前年度予算 5,514千円
花園地域振興課 地域振興係		予算書 150ページ	(増減) △ 2,026千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第4 移住・定住施策の推進

内容	3大都市圏をはじめとする都市住民を地域おこし協力隊として委嘱し、「地域協力活動」を展開し、地域活性化につなげます。 令和4年度採用予定 花園地域 1名 [事業期間] 令和4年度 ~	
目的	人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、地域力の維持・強化を図りながら、当該地域への定住・定着を図ります。	
目標	活動	[活動内容] ①花園地域でのテレワークの実践及びその情報の発信 ②テレワーク関連事業の推進 ③ワーケーション関連事業の推進 ④移住・定住関連事業の推進 ⑤SNS等を活用した花園地域の魅力等の発信 ⑥その他地域活性化にかかわる活動
	目標	[目 標] ワーケーション体験会の開催 2回
成果	実績	
	課題等	

経費	地域おこし協力隊報償費	2,400千円
	職員旅費	47千円
	車リース料	410千円
	地域おこし協力隊活動用備品	100千円
	地域おこし協力隊活動交付金	347千円
	その他事務費	184千円
	(計)	3,488千円
財源	一般財源(全額が特別交付税の対象)	3,488千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	道の駅周遊促進事業		本年度予算 3,000千円
(款) 7.商工費	(項) 1.商工費	(目) 1.商工総務費	前年度予算 0千円
産業観光課 商工観光係		予算書 152ページ	(増減) 3,000千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第2 魅力ある商工業の振興

内容	従来の産業まつり事業の在り方を見直し、かつらぎ町内で活動している団体や道の駅と連携し、イベントの実施、道の駅の周遊につながる仕組みを作り、町外からの誘客に取り組みます。 [事業期間] 令和4年度 ~	
	町内団体や道の駅と連携し、イベントなどの事業を行うことで、町外からの誘客を図り、継続的な来訪を促します。	
目的	活動	町内で活動している団体や道の駅と役割分担やスケジュールなどを協議し、イベントを通じて、町外からの誘客に取り組みます。
	目標	開催回数1回を目標に取り組みます。
成果	実績	
	課題等	

経費	道の駅周遊促進業務委託料	3,000千円
	(計)	3,000千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金2,500千円)	3,000千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
	地域おこし協力隊事業(ふるさと特産品 開発・販売支援)		本年度予算 4,229千円
(款) 7.商工費	(項) 1.商工費	(目) 2.地域おこし支援費	前年度予算 4,051千円
企画公室 地方創生係 (企画公室 まちづくり推進係)		予算書 152ページ	(増減) 178千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり		第4 移住・定住施策の推進

内容	3大都市圏をはじめとする都市住民を地域おこし協力隊として委嘱し、地域産品の開発やブラッシュアップ、販路開拓、情報発信活動等を行います。 [事業期間] 令和3年度 ~ 令和6年度	
	地域外の人材を誘致し、地域おこしを推進することにより、地域経済の活性化、地域力の維持・強化とともに、当該人材の定住・定着を図ります。	
目標	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者訪問・連携による特産品開発 ・生産者や事業者と連携した特産品のブラッシュアップ ・流通・小売業者の開拓、地域事業者とのマッチングによる特産品の販売ルート確立 ・ふるさと納税ポータルサイトの説明文、写真の充実 ・ふるさと納税返礼品カタログの企画等
	目標	地域外の人材を誘致し、地域おこしを推進することにより、地域経済の活性化、地域力の維持・強化とともに、当該人材の定住・定着を図ります。
成果	実績	
	課題等	

経費	地域おこし協力隊報償費	2,400千円
	職員旅費	143千円
	車リース料	660千円
	地域おこし協力隊活動用備品	100千円
	地域おこし協力隊活動交付金	577千円
	その他事務費	349千円
	(計)	4,229千円
財源	一般財源(全額が特別交付税の対象)	4,229千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
観光案内・PR業務委託			本年度予算 4,500千円
(款) 7.商工費	(項) 2.観光事業振興費	(目) 1.観光事業振興費	前年度予算 4,622千円
産業観光課 商工観光係	予算書	154ページ	(増減) △122千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり		第3 観光・サービス業の育成

内容	<p>かつらぎ町のPR、認知度向上を目的に、県内外のイベントや催事への出店、観光情報の発信のほか、周遊コースの構築とそのパンフレットの作成、観光問い合わせ対応に係る業務を委託します。</p> <p>[事業期間] 令和3年度 ~</p>	
目的	<p>県内外のイベント参加や地域情報の発信により、かつらぎ町のPR及び認知度向上を図ります。</p> <p>また、町内各地での周遊コース構築とそのパンフレットの作成をすることで、多くの人にかつらぎ町を具体的にPRします。</p> <p>観光問い合わせ対応などを外部委託することで、より丁寧で個々のニーズに沿った対応を行います。</p>	
目標	活動	<p>[活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつらぎ町のPR、認知度向上 ・周遊コースの構築とパンフレットの作成 ・観光問い合わせ対応
	目標	<p>イベント参加や問い合わせ対応を行うことで、かつらぎ町のPR及び認知度向上を図り、誘客集客を図ります。</p> <p>また、町内各地で周遊ルートを構築し、PRすることで町内での滞在時間の延伸やリピート率向上を図ります。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	観光案内・PR業務委託料	4,500千円
	(計)	4,500千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金4,000千円)	4,500千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	観光案内看板整備事業		本年度予算 3,352千円
(款) 7.商工費	(項) 2.観光事業振興費 (目) 1.観光事業振興費		前年度予算 0千円
産業観光課 商工観光係		予算書 154ページ	(増減) 3,352千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第3 観光・サービス業の育成

内容	令和2年6月に認定された日本遺産「葛城修験」や町石道、天野地内、花園地域のトレッキングに係る案内看板の新規設置や修繕を行います。 [事業期間] 令和4年度 ~	
	観光資産の解説板や案内看板を設置することで、来訪者の利便性向上とストレスなく周遊できる環境整備を目指します。	
目的	活動	[活動内容] ・日本遺産「葛城修験」の構成資産への解説板、道標設置 ・町石道や天野地内の看板修繕 ・花園地域のトレッキング看板整備
	目標	解説板や案内看板の新設・修繕を行うことで、来訪者の利便性向上を図ります。
成果	実績	
	課題等	

経費	観光看板設置工事	2,457千円
	日本遺産活用推進協議会看板設置負担金	895千円
	(計)	3,352千円
財源	和歌山県観光施設整備補助金(県補助、2,232千円×1/2)	1,116千円
	一般財源	2,236千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	緊急自然災害防止対策事業(町道四邑16号線道路改良)		本年度予算 24,400千円
	(款) 8.土木費	(項) 2.道路橋梁費 (目) 3.道路新設改良費	前年度予算 0千円
	建設課 工務係	予算書 160ページ	(増減) 24,400千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備

内容	緊急自然災害防止対策事業債を活用し、町道四邑16号線の改良工事を行います。 (延長L=25m 幅員W=3m) [事業期間] 令和4年度	
	町内の道路施設を良好な状態に保ち、安全な交通、事故防止を含めた快適な道路整備を図ります。	
目標	活動	測量設計業務委託及び道路改良工事を行います。
	目標	道路施設の予防保全のための対策をおこない交通の安全を確保します。
成果	実績	
	課題等	

経費	土壌検査業務委託料	300千円
	町道四邑16号線測量設計業務委託料	2,000千円
	町道四邑16号線道路改良工事	20,000千円
	町道四邑16号線物件補償費	1,500千円
	その他事務費	600千円
	(計)	24,400千円
財源	緊急自然災害防止対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	24,100千円
	一般財源	300千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
公共施設等適正管理推進事業(個別施設計画)			本年度予算 12,900千円
(款) 8.土木費	(項) 2.道路橋梁費	(目) 3.道路新設改良費	前年度予算 9,900千円
建設課 工務係		予算書 160ページ	(増減) 3,000千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備

内容	公共施設等適正管理推進事業債を活用し、町道の修繕を行います。 (施設) 町道佐野20号線 : 令和3年度 ~ 令和13年度施工予定 町道大藪柏木線 : 平成30年度 ~ 令和7年度施工予定 町道堀越街道線 : 平成25年度 ~ 令和8年度施工予定 町道妙寺37号線 : 平成31年度 ~ 令和8年度施工予定 (舗装) 町道笠田西部42号線 : 令和4年度 ~ 令和5年度施工予定	
目的	当該道路は町内において主要な幹線道路であり、車等の交通が頻繁に行われる中、効率的に道路の維持修繕・長寿命化を図るため、個別施設計画を策定し、将来的な財政負担の低減及び道路交通の安全確保を図ります。	
目標	活動	個別施設計画に基づき、計画的な町道の修繕を進めます。 令和4年度施工箇所 町道佐野20号線 L=30m ・町道大藪柏木線 L=30m ・町道堀越街道線 L=30m 町道妙寺37号線 L=30m ・町道笠田西部42号線 L=100m
	目標	長寿命化及び交通の安全確保に寄与します。
成果	実績	
	課題等	

経費	町道佐野20号線道路改良工事	2,500千円
	町道大藪柏木線道路改良工事	2,400千円
	町道堀越街道線道路改良工事	2,500千円
	町道妙寺37号線道路改良工事	2,500千円
	町道笠田西部42号線道路改良工事	3,000千円
	(計)	12,900千円
財源	公共施設等適正管理推進事業債(借入金、返済額のうち町負担は70%)	11,600千円
	一般財源	1,300千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
辺地対策事業費(四郷1号線)			本年度予算 33,900千円
(款) 8.土木費	(項) 2.道路橋梁費	(目) 4.辺地対策事業費	前年度予算 21,528千円
建設課 工務係		予算書 160ページ	(増減) 12,372千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備

内容	<p>辺地対策事業債を活用して町道四郷1号線の新設改良を行います。</p> <p>(総延長 L=700.0m・幅員 W=4.0m 令和4年度施工 L=100.0m)</p> <p>[事業期間] 平成28年度 ~ 令和4年度</p>	
	<p>町道四郷1号線は、幅員が狭小でありカーブも多いため、車の通行等日常生活に苦慮している現状です。</p> <p>これらに対応するため、本路線を改良舗装することにより生活の利便向上を図るとともに、地域交流の充実、地場産業の発展、生活環境の整備等を図ります。</p>	
目的	活動	町道四郷1号線道路改良工事を行います。
	目標	交通の安全確保と地域の活性化により町域の均衡ある発展に寄与します。
成果	実績	
	課題等	

経費	町道四郷1号線道路改良工事	33,000千円
	その他事務費	900千円
	(計)	33,900千円
財源	辺地対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は20%)	32,200千円
	一般財源	1,700千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
社会資本整備総合交付金事業費(町道大谷長野線)			本年度予算 8,200千円
(款) 8.土木費	(項) 2.道路橋梁費	(目) 5.社会資本整備総合交付金事業費	前年度予算 9,521千円
建設課 工務係		予算書 161ページ	(増減) △1,321千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備

内容	社会資本整備事業を活用して町道大谷長野線の新設改良を行います。 (総延長 L=32.0m・幅員 W=4.0m) 令和4年度施工 L=32.0m [事業期間] 令和2年度 ~ 令和4年度	
	道路交通網を拡充することにより、住民生活の利便性向上と安全性の確保を図り、地域の発展に寄与することを目的とします。 現在、当該道路は、幅員が狭小であり通学道路としての機能が損なわれているため、町道改良工事を実施して交通需要と地域住民の安全を図り、また歩道を設置して歩行者の安全を確保します。	
目的	活動	町道大谷長野線道路改良工事を行います。
	目標	通学路(歩道)を確保することで児童の安全を確保します。
成果	実績	
	課題等	

経費	町道大谷長野線道路改良工事	8,000千円
	その他事務費	200千円
	(計)	8,200千円
財源	社会資本整備総合交付金(国補助、8,000千円×58.85%)	4,708千円
	合併特例事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	3,300千円
	一般財源	192千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
社会資本整備総合交付金事業費(町道1号線)			本年度予算 31,100千円
(款) 8.土木費	(項) 2.道路橋梁費	(目) 5.社会資本整備総合交付金事業費	前年度予算 13,838千円
建設課 工務係		予算書 161ページ	(増減) 17,262千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備

内容	社会資本整備事業を活用して町道1号線の新設改良を行います。 (総延長 L=200.0m・幅員 W=5.0m) 令和4年度施工 L=50.0m [事業期間] 令和2年度 ~ 令和6年度	
	道路交通網を拡充することにより、住民生活の利便性向上と安全性の確保を図り、地域の発展に寄与することを目的とします。	
目標	活動	町道1号線道路改良工事を行います。
	目標	道路の幅員を確保することで交通の安全を確保します。
成果	実績	
	課題等	

経費	土壌検査業務委託料	300千円
	町道1号線道路改良工事	30,000千円
	その他事務費	800千円
	(計)	31,100千円
財源	社会資本整備総合交付金(国補助、30,000千円×53.5%)	16,050千円
	合併特例事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	14,000千円
	一般財源	1,050千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
道路メンテナンス事業(橋梁点検)			本年度予算 30,000千円
(款) 8.土木費	(項) 2.道路橋梁費	(目) 8.長寿命化修繕事業費	前年度予算 30,001千円
建設課 管理係		予算書 162ページ	(増減) △1千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備

内容	平成26日7月1日施行の道路法施行規則改正に伴い、橋長2m以上の橋梁について、5年に1回の定期点検(近接目視)が義務付けられました。 本町には、2m以上の橋梁が369橋あり、平成27年度からの点検を終え、2順目の点検を行っています。 令和4年度点検 75橋 [事業期間] 平成31年度 ~ 令和5年度	
	高度経済成長期に集中的に整備した橋梁の老朽化が進行しており、これらの橋梁を効率的に維持管理していくことが求められています。 そのため道路管理者の責任による点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルを確立します。	
目標	活動	75橋の橋梁点検を行います。
	目標	点検を実施することにより、道路交通の安全を確保します。
成果	実績	
	課題等	

経費	橋梁点検業務委託料	30,000千円
	(計)	30,000千円
財源	道路メンテナンス事業費補助金(国補助、30,000千円×58.85%)	17,655千円
	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	12,300千円
	一般財源	45千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新規	道路メンテナンス事業(見好5号橋)		本年度予算 6,100千円
(款) 8.土木費	(項) 2.道路橋梁費	(目) 8.長寿命化修繕事業費	前年度予算 0千円
建設課 管理係		予算書 162ページ	(増減) 6,100千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備

内容	令和2年度に実施した橋梁点検の結果に基づき測量設計業務を実施します。	
	見好5号橋測量設計 延長 9.0m 幅員 3.50m [事業期間] 令和4年度 ~ 令和5年度	
目的	長年の経年劣化及び橋梁自体の老朽化に伴う第三者被害を未然に予防するため、対策工事を実施します。	
	活動	橋梁補修設計を実施します。
目標	目標	補修工事を実施することにより、道路交通の安全を確保します。
	実績	
成果	課題等	

経費	見好5号橋測量設計業務委託料	6,000千円
	その他事務費	100千円
	(計)	6,100千円
財源	道路メンテナンス事業費補助金(国補助、6,000千円×58.85%)	3,531千円
	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	2,400千円
	一般財源	169千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
道路メンテナンス事業(見好20号橋)			本年度予算 8,200千円
(款) 8.土木費	(項) 2.道路橋梁費	(目) 8.長寿命化修繕事業費	前年度予算 6,101千円
建設課 管理係		予算書 162ページ	(増減) 2,099千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備

内容	平成30年度に実施した橋梁点検の結果に基づき橋梁補修工事を実施します。	
	見好20号橋橋梁補修工事 延長 L=12.0m 幅員 W=2.80m [事業期間] 令和3年度 ~ 令和4年度	
目的	長年の経年劣化及び橋梁自体の老朽化に伴う第三者被害を未然に予防するため、対策工事を実施します。	
	活動	橋梁補修工事を実施します。
目標	目標	補修工事を実施することにより、道路交通の安全を確保します。
	実績	
成果	課題等	

経費	見好20号橋橋梁補修工事	8,000千円
	その他事務費	200千円
	(計)	8,200千円
財源	道路メンテナンス事業費補助金(国補助、8,000千円×58.85%)	4,708千円
	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	3,300千円
	一般財源	192千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	緊急自然災害防止対策事業(小林谷川改修)		本年度予算 4,900千円
(款) 8.土木費	(項) 3.河川費	(目) 1.河川費	前年度予算 0千円
建設課 工務係		予算書 163ページ	(増減) 4,900千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備

内容	緊急自然災害防止対策事業債を活用し、小林谷川の改修工事を行います。	
	令和4年度施工 L=20.0m [事業期間] 令和4年度	
目的	河川の機能を保持するために、維持管理や修繕を行います。	
	活動	測量設計業務委託及び河川改修工事を行います。
目標	目標	修繕を実施することにより、良好な状態を確保します。
	実績	
成果	課題等	

経費	土壤検査業務委託料	300千円
	小林谷川改修測量設計業務委託料	1,500千円
	小林谷川改修工事	3,000千円
	その他事務費	100千円
	(計)	4,900千円
財源	緊急自然災害防止対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	4,600千円
	一般財源	300千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
かつらぎ西部公園整備事業			本年度予算 119,829千円
(款) 8.土木費	(項) 4.都市計画費	(目) 3.公園整備事業費	前年度予算 52,901千円
建設課 総務係 (建設課 事務係)		予算書 166ページ	(増減) 66,928千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第1節 健康に暮らせるまちづくり	第2 病気の予防

内容	かつらぎ西部公園の整備 A=7.3ha 公園種別:地区公園 [主要設備] パークゴルフ場(36ホール)・管理棟・多目的広場・駐車場・トイレ等 [令和4年度施工] 北側多目的広場整備工事 [事業期間] 平成27年度 ~ 令和5年度	
	町民の世代間交流を促進、体力づくりの推進、健康の増進等を目的として、紀の川流域下水道伊都処理区との連携を図りつつ、「かつらぎ町健康寿命日本一宣言」に寄与する地区公園整備を目指します。	
目標	活動	公園北側の既存広場を多目的広場として整備します。
	目標	町民の世代間交流を促進、体力づくりの推進、健康の増進等を目的として、紀の川流域下水道伊都処理区との連携を図りつつ、「かつらぎ町健康寿命日本一宣言」に寄与する地区公園整備を目指します。
成果	実績	
	課題等	

経費	会計年度任用職員報酬・手当等	2,573千円
	かつらぎ西部公園建設用地管理業務委託料	2,500千円
	地盤調査委託料	109千円
	かつらぎ西部公園北側多目的広場測量設計業務委託料	16,353千円
	かつらぎ西部公園北側多目的広場整備工事	97,560千円
	その他事務費	734千円
	(計)	119,829千円
財源	社会資本整備総合交付金(国補助、113,913千円×1/2)	56,956千円
	過疎対策事業債(借入金、返済金のうち町負担は30%)	57,000千円
	会計年度任用職員雇用保険個人負担金	6千円
	一般財源	5,867千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
拡充	かつらぎ西部公園管理事業		本年度予算 26,100千円
(款) 8.土木費	(項) 4.都市計画費	(目) 4.かつらぎ西部公園管理費	前年度予算 22,140千円
生涯学習課 スポーツ振興係		予算書 167ページ	(増減) 3,960千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第1節 健康に暮らせるまちづくり	第2 病気の予防

内容	<p>西部公園パークゴルフ場18ホール、クラブハウス並びに令和4年度供用予定のパークゴルフ場18ホール及び多目的広場の管理・運営を行います。</p> <p>また、町体育協会及び町パークゴルフ協会と連携し、パークゴルフ推進事業を行うことで、パークゴルフ競技の振興を図るとともに、町民の健康増進及び地域交流の場として利活用を促進します。</p> <p>[管理施設] 西部公園パークゴルフ場、クラブハウス、多目的広場 [事業期間] 平成30年度 ~</p>	
	目的	<p>平成30年10月に開場した西部公園パークゴルフ場において、多くの方にパークゴルフ競技を体験していただくことで、町内における競技人口を増やすとともに、健康寿命の延伸に寄与します。</p> <p>また、公園の管理・運営を適切に行うことで、地域内外の交流及び地域活性化の拠点施設としての活用を図ります。</p>
目標	活動	<p>パークゴルフ場、クラブハウス、多目的広場を来場者に快適に利用していただけるよう適切に管理します。</p> <p>また、町体育協会及び町パークゴルフ協会と連携し、パークゴルフ推進事業を行うことで、パークゴルフ競技の振興を図ります。</p>
	目標	<p>かつらぎ西部公園を健康増進及び地域交流の場として、町民や町外の利用者数19,000人を目指します。</p> <p>パークゴルフ競技人口の増加及び町内の健康寿命の延伸を目指します。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	会計年度任用職員報酬・手当等	7,745千円
	日本パークゴルフ協会公認コース登録料	17千円
	芝生植栽管理委託料	11,546千円
	草刈業務委託料	1,540千円
	日本パークゴルフ協会会費	13千円
	その他事務費	5,239千円
	(計)	26,100千円
財源	パークゴルフ場使用料	12,000千円
	その他特定財源(自動販売機販売手数料、電気代、会計年度任用職員雇用保険個人負担金)	81千円
	一般財源	14,019千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
妙寺団地建替事業			本年度予算 63,965千円
(款) 8.土木費	(項) 5.住宅費	(目) 7.公営住宅等整備事業費	前年度予算 274,605千円
管財情報課 住宅係 (建設課 住宅係)		予算書 173ページ	(増減) △ 210,640千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備

内容	老朽化した妙寺団地(60棟155戸)を建て替えます。	
	令和4年度 妙寺団地第3期除却工事 [事業期間] 平成25年度 ~ 令和8年度	
目的	老朽化した妙寺団地を建替えることにより、入居者の安全性及び快適性の向上を図るとともに、新たな入居者を受け入れることで、地域コミュニティを活性化させます。	
	活動	妙寺団地第3期除却工事 木造2戸(1棟) PC造20戸(4棟)
目標	目標	良好な住環境の形成と居住水準及び地域環境の向上を図ります。
成果	実績	
	課題等	

経費	建築確認手数料	66千円
	妙寺団地便槽消毒清掃業務委託料	396千円
	妙寺団地第3期除却工事設計監理業務委託料	4,195千円
	妙寺団地第3期除却工事	56,265千円
	妙寺団地第3期建替入居者移転費	3,043千円
	(計)	63,965千円
財源	社会資本整備総合交付金(国補助、63,502千円×1/2)	31,751千円
	公営住宅建設事業債(借入金、返済額のうち町負担100%)	30,200千円
	一般財源	2,014千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
拡充	公営住宅等ストック総合改善事業		本年度予算 29,044千円
(款) 8.土木費	(項) 5.住宅費	(目) 8.公営住宅等ストック総合改善事業費	前年度予算 4,000千円
管財情報課 住宅係 (建設課 住宅係)		予算書 174ページ	(増減) 25,044千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備

内容	長寿命化計画に基づき、外壁に著しい劣化が見られる渋田第2団地の改修を行います。	
	[内 容] 外壁、軒天及び階段壁の塗り替え ・外壁:756㎡ ・軒天:454㎡ ・階段壁:171㎡ [事業期間] 令和4年度	
目的	計画的な修繕を行うことで住宅の居住性、耐久性及び安全性を確保し、建物の長寿命化を図ります。	
目標	活動	著しい劣化が見られる外壁の改修を行います。
	目標	建物の長寿命化を図ります。
成果	実績	
	課題等	

経費	渋田第2団地屋根外壁改修工事設計監理業務委託料	2,347千円
	渋田第2団地屋根外壁改修工事	26,697千円
	(計)	29,044千円
財源	社会資本整備総合交付金(国補助、29,043千円×1/2)	14,521千円
	公営住宅建設事業債(借入金、返済額のうち町負担100%)	14,500千円
	一般財源	23千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
不良空家等対策事業			本年度予算 2,500千円
(款) 8.土木費	(項) 5.住宅費	(目) 9.空家等対策事業費	前年度予算 2,500千円
建設課 総務係 (建設課 事務係)	予算書	174ページ	(増減) 0千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり		第1 防災対策・体制の強化

内容	<p>老朽化が進んでいる空き家のうち、所有者等から不良空家認定の申請があり、町の認定を受けた不良空家に対して、撤去費用の一部を補助します。</p> <p>[募集戸数] 5戸 [補助金額] 補助率 4/5 上限500千円 [事業期間] 令和3年度 ~</p>	
	<p>老朽化した空き家を除却することで、地震等による倒壊等の危険を未然に防ぎ、住民の安全性を確保します。 また、倒壊等による危険だけではなく、公衆衛生の悪化や、景観の阻害等、多岐にわたる問題の抑制にも寄与します。</p>	
目的	活動	町の認定を受けた不良空家に対して、所有者等が自ら撤去する場合に撤去費用の一部を補助します。
	目標	倒壊や部材の落下の恐れがある空き家の除却を促進することで、住民の安全性を確保します。
成果	実績	
	課題等	

経費	不良空家除却補助金	2,500千円
	(計)	2,500千円
財源	空き家対策総合支援事業費補助金(国補助、2,500千円×1/2)	1,250千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金1,000千円)	1,250千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	消防団運営補助金		本年度予算 2,200千円
(款) 9.消防費	(項) 1.消防費	(目) 2.非常備消防費	前年度予算 0千円
危機管理課 消防係		予算書 176ページ	(増減) 2,200千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第2 消防・交通・防犯体制の整備

内容	<p>消防団の活動に要する経費に対して、補助金を交付します。</p> <p>[補助額] 経費の100% 予算額(2,200千円)の範囲内で補助</p> <p>[補助対象経費] 火災、水害、地震及び捜索等の出動時に係る経費 消防団の運営及び活動に係る経費 消防施設等の維持に係る経費</p> <p>[事業期間] 令和4年度 ~</p>
	<p>消防団の活動に要する経費に対して、予算の範囲内で補助金を交付することによって、消防団の円滑な運営を図り、町民の生命及び財産等を保護することを目的とします。</p>
目標	<p>活動</p> <p>4月に交付申請の受付及び交付決定、令和5年3月に実績報告書の提出受付及び補助金額の確定を行います。</p>
	<p>目標</p> <p>消防力の維持及び強化を目標とします。</p>
成果	<p>実績</p>
	<p>課題等</p>

経費	消防団運営補助金	2,200千円
	(計)	2,200千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金2,000千円)	2,200千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
拡充	備蓄食糧購入事業		本年度予算 1,176千円
(款) 9.消防費	(項) 1.消防費	(目) 7.防災費	前年度予算 860千円
危機管理課 防災係		予算書 180ページ	(増減) 316千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化

内容	<p>中央構造線断層帯による地震被害想定(最大避難者率34.7%)に基づき、食糧を備蓄します。地震災害対策のための備蓄基本方針に基づく食糧備蓄の役割分担により、発災後3日間分のうち1日分を備蓄します。</p> <p>[事業期間] 平成25年度 ~</p>	
目的	計画的に備蓄食糧等を購入し、災害時の備蓄食糧の確保を目的とします。	
目標	活動	<p>事業計画に基づき、備蓄食糧を購入します。</p> <p>令和4年度購入予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食糧 3,000食 ・飲料水 2,000本 ・乳幼児用液体ミルク 192本 <p>また、令和4年度において、食糧4,000食が賞味期限切れとなります。それらについては、公民館事業等での配布や防災教室での非常食体験などに活用し、今後も有効な活用方法について検討をします。</p> <p>液体ミルクについては、こども園及び乳幼児健診時等に配布します。</p>
	目標	<p>令和4年度からの5年間で、現行の備蓄食糧を10,000食から15,000食に、備蓄飲料水を2,400本から10,000本に増量することを目標とします。</p> <p>また、すでに備蓄している食糧が当該年度の賞味期限を迎えるまでに新たな備蓄食糧を購入します。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	備蓄食糧費	1,176千円
	(計)	1,176千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金500千円)	1,176千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	ブロック塀等耐震対策事業		本年度予算 1,600千円
(款) 9.消防費	(項) 1.消防費	(目) 7.防災費	前年度予算 0千円
危機管理課 防災係		予算書 181ページ	(増減) 1,600千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化

内容	通学路や避難路沿いのブロック塀の倒壊から身を守る安全対策として、撤去に要する経費に対し補助します。 [補助額] 経費の2/3、上限100,000円 [事業期間] 令和4年度 ~	
	道路に面しており、著しい傾斜や重度のひび割れがあるブロック塀の所有者に対して、倒壊または転倒の危険性があるとして県から改善の指導が行われています。 そのブロック塀の早期撤去を促進するため、撤去に要する経費を補助し、町民の身を守る安全対策を図ることを目的とします。	
目標	活動	町民及び県と連携し、危険ブロック塀の所有者に対し補助制度を周知することで、危険ブロック塀の撤去に努めます。
	目標	災害時において倒壊の危険性のあるブロック塀の撤去を目標とします。
成果	実績	
	課題等	

経費	ブロック塀等耐震対策事業補助金	1,600千円
	(計)	1,600千円
財源	住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金(国補助、1,600千円×1/2)	800千円
	わかやま防災カパワーアップ補助金(県補助、800千円×1/2)	400千円
	一般財源	400千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	指導主事設置事業		本年度予算 4,068千円
(款)	10.教育費 (項) 1.教育総務費 (目) 2.事務局費		前年度予算 0千円
	教育総務課 指導係	予算書 182ページ	(増減) 4,068千円
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり		第1節 子どもを守り育むまちづくり	第1 教育環境の充実

内容	<p>教育行政を行う上で、指導主事は、学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導や事務に従事するものとして、重要な役割を果たしています。</p> <p>令和時代に求められる学校教育の推進や山積する課題への対応を考えると、現在の一人体制では、十分な成果が期待できない状況にあります。</p> <p>よって、新しい時代の教育を推進するため、「一人指導主事」体制から「複数の指導主事」による教育指導体制の充実を図ります。</p> <p>・指導主事の配置:「会計年度任用職員1名」を雇用</p> <p>[事業期間] 令和4年度 ~</p>
	<p>指導主事を複数配置することにより、学校や園に対する教育課程、学習指導(授業改善・ICT活用等)、生徒指導等のより一層の充実を図ります。</p>
目標	<p>活動</p> <p>町内各小中学校、幼稚園、こども園に対して、教育諸課題に関する情報収集や教育課程、学習指導(授業改善・ICT活用等)、生徒指導に関する指導助言を行います。</p>
	<p>目標</p> <p>指導主事の専門性を生かした指導助言や山積する諸課題に機動的に対応します。</p>
成果	<p>実績</p>
	<p>課題等</p>

経費	会計年度任用職員報酬・手当等	4,068千円
	(計)	4,068千円
財源	会計年度任用職員雇用保険個人負担金(雑入)	10千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金3,500千円)	4,058千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	校務用ネットワーク機器等更新事業		本年度予算 10,070千円
(款)	10.教育費 10.教育費	(項) 1.教育総務費 3.中学校費	(目) 3.教育諸費 3.教育振興費
教育総務課 総務係		予算書	185ページ 197ページ
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり		第1節 子どもを守り育むまちづくり	第1 教育環境の充実
			(増減) 10,070千円

内容	平成27年度に導入した校務用ネットワーク機器や端末の更新を行います。 令和4年度では中学校2校の教職員用コンピュータ等の更新を行います。 [事業期間] 令和4年度 ~ 令和6年度	
目的	現在小中学校の教職員が使用している校務用パソコン、プリンタ等は、平成27年度に導入しており、令和3年度末で6年が経過します。 当該機器の保守期間も終了する中、故障のリスクが高くなっていることから、機器更新をすることにより安定的に使用でき、セキュリティ対策をより強固なものとする環境を構築します。	
目標	活動	一斉更新は多額の費用が掛かるため、3年に分けて更新します。更新年度を分割することで、費用の平準化を図ります。また、購入することで、リースに係る費用の節減効果も見込めます。 [調達範囲] 中学校2校の校務用ネットワーク機器 教職員用コンピュータ(40台、うち補助対象31台) 周辺機器(プリンタ・ネットワーク対応ハードディスク)
	目標	本事業により、高度なICT環境を導入し、安全・安心なセキュリティのもと、校務の効率化に寄与します。
成果	実績	
	課題等	

経費	校務ネットワークシステム構築業務委託料	816千円
	学校ホームページ作成サービスライセンス	605千円
	プリンター	330千円
	パソコン	7,700千円
	ハードディスク	619千円
	(計)	10,070千円
財源	公立学校情報機器整備費補助金(国補助、1,395千円×1/2)	697千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金8,500千円)	9,373千円

【一般会計】

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	学校給食費無償化による子育て支援事業		本年度予算 154,892千円
(款)	10.教育費 (項) 1.教育総務費 (目) 4.学校給食費		前年度予算 124,986千円
	教育総務課 総務係	予算書 186ページ	(増減) 29,906千円
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり		第1節 子どもを守り育むまちづくり	第1 教育環境の充実

内容	町内の小学校(5校)、中学校(2校)について、令和4年度から学校給食費(保護者負担分)を無償とします。				
	給食1食当	令和3年度		令和4年度	
		小学校	中学校	小学校	中学校
	保護者負担	200円	220円	無償	無償
	町負担	50円	60円	250円	280円
	合計	250円	280円	250円	280円
	また、区域外就学(町立小中学校以外の学校に就学)の児童・生徒についても給食費相当額を補助します。 (参考:令和3年11月1日現在区域外就学児童生徒数 小学校10名・中学校47名)				
	[事業期間] 令和4年度 ~				
目的	就学前後における子育て支援施策として、こども園給食補助や就学援助制度、学童保育施設の運営補助等、手厚い支援を行っています。令和4年度からはこれらの子育て支援施策を拡充し、切れ目のない包括的な支援を行っていくため、学校給食費に係る保護者負担分を無償とし、保護者が抱える経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを目的とします。				
目標	活動	町立小中学校における学校給食費の保護者負担分を無償とします。 また、区域外就学の児童・生徒に対しても給食費相当額を補助します。			
	目標	町全体で実施する子育て支援施策と教育環境の充実により、子を育てる世代の生活満足度の向上や定住促進を図ります。			
成果	実績				
	課題等				

経費	会計年度任用職員報酬・手当等	5,171千円
	給食材料費	62,582千円
	給食業務委託料	81,812千円
	学校給食費補助金	2,844千円
	その他事務費	2,483千円
	(計)	154,892千円
財源	督促手数料	1千円
	会計年度任用職員雇用保険個人負担金(雑入)	13千円
	学校給食費(雑入)	7,077千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金44,000千円)	147,801千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	笠田中学校階段昇降機設置工事		本年度予算 13,640千円
(款) 10.教育費	(項) 3.中学校費	(目) 2.中学校管理費	前年度予算 0千円
教育総務課 総務係 教育総務課 指導係		予算書 195ページ	(増減) 13,640千円
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり		第1節 子どもを守り育むまちづくり	第1 教育環境の充実

内容	<p>特別支援学級(肢体不自由)に在籍する生徒が車いすで校舎内を移動できるようにするため、「階段昇降機」を整備します。 このことにより、教室から特別教室への移動や登下校時の移動を容易にします。</p> <p>[事業期間] 令和4年度</p>	
目的	<p>現在、笠田小学校に在籍している車いすを必要とする児童の進学にあわせ、合理的配慮の一環として笠田中学校に「階段昇降機」を設置し、学校施設のバリアフリー化を進めます。 当該児童の安全や安心を確保し、持てる力を存分に発揮できる環境を整えます。 また、環境を整えることにより、本人や支援員の負担を軽減します。</p>	
目標	活動	<p>笠田中学校校舎に階上の教室への移動がスムーズに行えるよう1階から3階までの階段の昇降装置を設置します。 階段昇降機をはじめ、教育環境のバリアフリー化については学校の状況を確認し、最適な対応について検討を行います。</p>
	目標	<p>生徒一人ひとりの障害に応じた必要な合理的配慮を行うことにより、障害等の有無にかかわらず、誰もが支障なく学校生活を送れる環境を整備します。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	笠田中学校階段昇降機設置工事	13,640千円
	(計)	13,640千円
財源	学校施設環境改善交付金(国補助、13,640千円×1/3)	4,546千円
	学校教育施設等整備事業債(借入金、返済額のうち町負担は70%)	6,800千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金2,000千円)	2,294千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	水泳指導地域人材連携事業(中学校水泳授業)		本年度予算 1,066千円
(款) 10.教育費	(項) 3.中学校費	(目) 3.教育振興費	前年度予算 0千円
教育総務課 総務係 教育総務課 指導係		予算書 196ページ	(増減) 1,066千円
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり		第1節 子どもを守り育むまちづくり	第1 教育環境の充実

内容	<p>中学校プール施設の老朽化を考慮し、施設環境の整ったかつらぎ町民プールで中学校の保健体育授業「水泳」を実施します。 教職員と専門的な知識を有する指導員が指導を行い、指導内容を充実させます。 これまでの学校での水泳指導に、専門的な知識を有する指導員の水泳指導法を加えることにより、生涯にわたって水泳に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指します。併せて、教員の指導力向上を図ります。</p> <p>[事業期間] 令和4年度 ~</p>		
	<p>本町では、学校、家庭、地域の連携による教育を推進しています。本事業は、地域人材を活用し多様な体験の場を提供することで、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育むため実施します。 また、かつらぎ町民プールで授業を行うことにより、プール改修をはじめとする両校での維持管理費用を削減します。</p>		
目標	活動	<p>1つの学年で週1回(2時間)、計4回水泳授業を実施します。 学校と町民プールの送迎は、スクールバスを活用します。 教員と専門的な知識を持った指導者が、生徒一人ひとりの泳力や興味関心等の状況に応じた水泳指導を安全かつ計画的に行います。</p>	
	目標	<p>中学校学習指導要領保健体育に示されている内容をさらに充実させ、自らが水の事故から命を守るための能力を養います。 生徒が水泳の楽しさを十分に味わえる環境を整えます。 「学校だけでなく、地域にも自分たちは見守られてきた」と生徒たちの心に残ることで、地域への愛着の醸成を目指します。</p>	
成果	実績		
	課題等		

経費	講師謝金	274千円
	プール送迎業務委託料	792千円
	(計)	1,066千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金1,000千円)	1,066千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
拡充	かつらぎ町公民館活動推進事業		本年度予算 35,012千円
(款)	10.教育費 10.教育費	(項) 5.社会教育費 5.社会教育費	(目) 4.公民館総務費 6.公民館管理費
生涯学習課 社会教育費		予算書	204ページ 205ページ
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり		第2節 学びと参加によるまちづくり	第1 生涯学習環境の整備
			前年度予算 30,431千円 (増減) 4,581千円

内容	町内における公民館活動を通して、更なる住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図るため、公民館における環境整備を推進します。 現在、天野公民館は1館で天野、新城、志賀の3地区を対象としていますが、令和5年度までに各地区へ公民館を設置することを目指し、準備を行います。	
	令和4年度 各地区(新城、天野、志賀)における公民館設置準備 令和5年度 各地区(新城、天野、志賀)における公民館の設置 [事業期間] 令和4年度 ~	
目的	町内全域における公民館活動を推進することにより、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とします。	
目標	活動	①各地区(新城、天野、志賀)における公民館設置準備 主事の配置 運営委員会準備会の発足 施設における必要物品の整備 ②主事及び住民等を対象とした研修(令和4年度6回開催予定)
	目標	町内全域(旧小学校区単位)に公民館主事を配置し、住民による公民館運営を推進します。 新たな公民館の設置を契機に、既存の公民館においても、その役割を再確認し、地域課題の解決に寄与する公民館となるよう努めます。
成果	実績	
	課題等	

経費	公民館主事研修講師謝金	200千円
	費用弁償	100千円
	会計年度任用職員報酬・手当等	34,448千円
	公民館備品	264千円
	(計)	35,012千円
財源	会計年度任用職員雇用保険個人負担金(雑入)	86千円
	地方創生アドバイザー事業補助金(雑入)	200千円
	講座参加費(雑入)	100千円
	一般財源	34,626千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	木造十一面観音菩薩立像盗難防止設備設置事業補助金		本年度予算 72千円
(款)	10.教育費 (項) 5.社会教育費 (目) 7.文化財保護費		前年度予算 0千円
	生涯学習課 文化振興係	予算書 208ページ	(増減) 72千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第4節 歴史・文化の継承と創造	第1 歴史・文化の継承と創造

内容	町指定文化財である木造十一面観音菩薩立像(兄井極楽寺所在)について、盗難防止設備を設置します。設置に要する経費の一部を補助します。	
	[事業費] 218千円 町費 72千円 事業者負担金 146千円 [事業期間] 令和4年度	
目的	木造十一面観音菩薩立像を盗難から守る設備を設置することにより、同文化財を確実に保護し後世に継承します。	
目標	活動	木造十一面観音菩薩立像の盗難防止設備を設置します。設備は、防犯カメラ等による警備システムであり、侵入者を感知し警報機を鳴動させるとともに、侵入者を記録します。
	目標	町指定文化財である木造十一面観音菩薩立像を後世に継承することにより、地域文化の発展につなげます。
成果	実績	
	課題等	

経費	文化財盗難防止設備設置事業補助金	72千円
	(計)	72千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金70千円)	72千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新規	丹生都比売神社構成要素修理事業補助金		本年度予算 227千円
(款) 10.教育費	(項) 5.社会教育費 (目) 7.文化財保護費		前年度予算 0千円
生涯学習課 文化振興係		予算書 208ページ	(増減) 227千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第4節 歴史・文化の継承と創造	第1 歴史・文化の継承と創造

内容	世界遺産構成資産・国指定史跡「丹生都比売神社境内」の構成要素である東池石垣のうち崩落部分を保存修理します。保存修理に要する経費の一部を補助します。	
	[事業費] 3,640千円 国費 1,820千円 県費 227千円 町費 227千円 事業者負担金 1,366千円 [事業期間] 令和4年度	
目的	東池の石垣の毀損部分を保存修理することにより、世界遺産を後世に継承します。	
目標	活動	東池の保存修理を行います。保存修理は、崩落した石垣の積み直しを行います。なお、必要に応じて根石周辺の補強を行います。
	目標	世界遺産である丹生都比売神社境内を後世に継承することにより、地域文化の発展に貢献します。
成果	実績	
	課題等	

経費	丹生都比売神社構成要素修理事業補助金	227千円
	(計)	227千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金220千円)	227千円

【シビックセンター特別会計】		事業区分	町自主事業
紀州かつらぎふるさとオペラ公演事業			本年度予算 5,000千円
(款) 2.事業費	(項) 1.事業費	(目) 1.事業費	前年度予算 4,500千円
生涯学習課 文化振興係		予算書 248ページ	(増減) 500千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第4節 歴史・文化の継承と創造	第1 歴史・文化の継承と創造

内容	<p>過去3回公演の紀州かつらぎふるさとオペラ『横笛の詩』をベースに、新たなオペラの製作を企画し、2年計画で実施する予定でしたが、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を延期することとなりました。既に脚本、作曲作業は完了していますので、令和4年度は公演に向け、コーラス、アリアの練習、舞台装置の作成から通し稽古、リハーサルを経て、3月に公演実施します。</p> <p>[事業期間] 平成31年度 ~ 令和4年度 公演予定 令和5年3月</p>	
	<p>プロ、アマを問わず、かつらぎ町内外の音楽家、演奏家の協力を願い公演を行うことで、文芸、音楽の刷新を行い地域文化発展の一翼を担う事を目的とします。</p>	
目的	活動	<p>上演に向け、コーラス、アリアの練習、舞台装置の作成から通し稽古、リハーサル等、一年を通し計画的に事業を進めます。</p>
	目標	<p>天野地区に伝わる物語をオペラとして公演することで、かつらぎ町のPRを行うとともに、歴史文化の継承や町文化の振興を行い、総合文化会館の活性化を図ります。</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	紀州かつらぎふるさとオペラ公演業務委託料	5,000千円
	(計)	5,000千円
財源	入場券販売(雑入)	900千円
	一般財源	4,100千円

【介護保険事業特別会計】		事業区分	国の制度等
新規	介護予防・生活支援サービス事業費(短期集中予防サービス)		本年度予算 3,034千円
(款)	3.地域支援事業費 (項) 1.介護予防・生活支援サービス事業費 (目) 1.介護予防・生活支援サービス事業費		前年度予算 0千円
健康推進課 長寿社会係		予算書 351ページ	(増減) 3,034千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第2節 いきいきと暮らせるまちづくり	第2 高齢者福祉の充実

内容	<p>要支援1・2、事業対象者の認定を受けた方に、運動機能・身体機能・生活機能の向上を図るためのリハビリテーションを保健・医療の専門職が実施します。</p> <p>自宅もしくは事業所で3～6ヶ月の短期間で集中的に行うことにより、生活の意欲を向上させ、事業の終了した後も対象者が自宅で運動に関してセルフケアマネジメントできるよう支援を行います。</p> <p>[事業期間] 令和4年度 ～</p>	
	<p>短期間で集中的にリハビリを実施し、自宅で自立した生活ができるように回復することにより、生活機能等の向上を目指します。</p>	
目標	活動	<p>要支援1・2、事業対象者の方で、短期集中予防サービスを実施することにより生活機能の向上が見込め、かつ自立した生活ができると思われる方に対してケアマネジャーや地域包括支援センターと連携しながら支援内容を提案します。</p>
	目標	<p>・事業所数 訪問 1事業所 通所 1事業所</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	訪問型サービス費(短期集中C)	964千円
	通所型サービス費(短期集中C)	2,070千円
	(計)	3,034千円
財源	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)(国補助、3,034千円×25%)	759千円
	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)(県補助、3,034千円×12.5%)	379千円
	地域支援事業支援交付金(支払基金、3,034千円×27%)	819千円
	介護保険料(事業費、3,034千円×23%)	698千円
	一般財源	379千円

【介護保険事業特別会計】		事業区分	町自主事業
拡充	かつらぎ町高齢者等見守り配食サービス事業		本年度予算 2,757千円
(款)	3.地域支援事業費	(項) 3.包括的支援事業・任意事業費	(目) 2.任意事業費
健康推進課 長寿社会係		予算書 354ページ	(増減) 381千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第2節 いきいきと暮らせるまちづくり	第2 高齢者福祉の充実

内容	<p>要介護高齢者等が地域で自立した日常生活を送ることを支援するため、宅配弁当の配達を活用して見守り訪問を行い、安否等の状況を確認します。</p> <p>また、緊急時は、宅配業者から登録連絡先や担当ケアマネジャー、担当課等に連絡されます。</p> <p>なお、委託料については、1件300円(税抜)から500円(税抜)に増額します。</p> <p>[事業期間] 令和2年度 ~</p>	
	<p>介護保険の被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも地域において安心して自立した日常生活を送ることができる環境を整えます。</p>	
目標	活動	<p>ケアマネジャーを対象とした研修会や広報等での事業周知を行います。</p> <p>利用者に異変があった場合や連絡が取れない時は、宅配業者から登録連絡先やケアマネジャーに連絡されます。また、日常的に見守りが必要な方に安否確認を行います。</p>
	目標	<p>利用登録者数</p> <p>令和3年度 48人 (R3.10月現在)</p> <p>令和4年度 50人</p>
成果	実績	
	課題等	

経費	高齢者等見守り配食サービス委託料	2,757千円
	(計)	2,757千円
財源	地域支援事業交付金(包括支援・任意事業)(国補助、2,757千円×38.5%)	1,061千円
	地域支援事業交付金(包括支援・任意事業)(県補助、2,757千円×19.25%)	531千円
	介護保険料(事業費、2,757千円×23%)	634千円
	一般財源	531千円

【介護保険事業特別会計】		事業区分	国の制度等
拡充	生活支援体制整備事業		本年度予算 15,737千円
(款) 3.地域支援費	(項) 4.包括支援事業費 (社会保障充実分)	(目) 2.生活支援体制 整備事業費	前年度予算 9,952千円
健康推進課 長寿社会係		予算書 354ページ	(増減) 5,785千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第2節 いきいきと暮らせるまちづくり		第2 高齢者福祉の充実

内容	<p>地域の住民や各種団体の代表者からなる協議体と生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の多様な日常生活における支援体制(支え合い活動)の充実・強化を図ります。併せて、高齢者の社会参加を一体的に推進します。</p> <p>令和4年度から「生活支援コーディネーター業務」については、効果的・効率的に進めるため、ボランティア団体等、地域の諸団体との結びつきの強いかつらぎ町社会福祉協議会に委託します。</p> <p>①協議体の設置(住民・各種団体・介護福祉事業者・行政関係の代表で構成 委員数10名) ②生活支援コーディネーター設置(社会福祉協議会に委託 専任1名・兼任3名体制)</p> <p>[事業期間] 平成30年度 ~</p>
目的	支援の必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できる地域づくりを目指します。
目標	<p>・協議体会議の開催</p> <p>①地域に必要な支え合い活動について協議 ②高齢者支援について理解を深めてもらうための研修会等の開催</p> <p>・生活支援コーディネーター(支え合い推進員)の活動</p> <p>①地域で行われている支え合い活動などの調査及び地域課題の把握 ②ボランティア人材と地域ニーズのマッチング ③協議体への参画</p>
	<p>「協議体」や「生活支援コーディネーター」の活動により、必要となる多様な生活支援(支え合い活動)の構築を目指します。</p>
成果	実績
	課題等

経費	講師謝金	50千円
	第一層協議体委員報償費	183千円
	生活支援コーディネーター業務委託料	15,487千円
	その他事務費	17千円
	(計)	15,737千円
財源	地域支援事業交付金(社会保障充実分)(国補助、15,737千円×38.5%)	6,059千円
	地域支援事業交付金(社会保障充実分)(県補助、15,737千円×19.25%)	3,029千円
	介護保険料(事業費、15,737千円×23%)	3,620千円
	一般財源	3,029千円

【花園地域交流推進施設運営事業特別会計】		事業区分	町自主事業
アマゴ釣り大会運営事業		本年度予算	522千円
(款) 1.事業費	(項) 1.事業費	(目) 2.花園野外活動 総合施設運営費	前年度予算 522千円
花園地域振興課 地域振興係		予算書 374ページ	(増減) 0千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第3 観光・サービス業の育成

内 容	花園地域内を流れる有田川(約1.3km区間)にアマゴを放流し、自然豊かな河川を利用した釣り大会を地域住民等の協力のもと開催します。 [事業期間] 平成30年度 ~	
	花園地域における閑散期に釣り大会を開催することで、地域への集客を増やし、地域内の観光施設利用の促進を図ります。 また、町外の参加者に花園地域の豊かな自然を知ってもらうとともに、地域住民との交流の場とすることで、花園地域の魅力をアピールし、地域への移住を推進します。	
目 標	活動	[活動内容] アマゴ釣り大会(マスツッターレ!!!2022)の開催 1回
	目標	[目 標] 釣り大会参加者 230人
成 果	実績	
	課題等	

経 費	アマゴ釣り大会記念品	15千円
	消耗品費	374千円
	印刷製本費	25千円
	郵送料	8千円
	アマゴ釣り大会運営業務委託料	100千円
	(計)	522千円
財 源	イベント参加料(雑入)	415千円
	一般財源	107千円

【水道事業会計】		事業区分	町自主事業
新規	水道料金調定収納及び公営企業会計システム機器更新事業		本年度予算 20,792千円
(款) 1.資本的支出	(項) 1.建設改良費	(目) 4.固定資産購入費	前年度予算 0千円
上下水道課 総務係 (上下水道課 事務係)		予算書 393ページ	(増減) 20,792千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内容	水道料金調定収納及び公営企業会計システムのハードウェアについて、令和4年度に更新時期を迎えるため、機器の更新を行います。 更新と同時に、災害に備えたサーバーのクラウド化(データバックアップ)を行い、行政サービスの向上に努めます。 [事業期間] 令和4年度	
	システム機器更新とクラウド環境の構築を行うことで、大規模災害発生時の業務継続性の確保に努めます。	
目的	システムの機器類の更新とクラウド環境の構築を行います。	
	令和5年3月までに更新を行います。	
成果	実績	
	課題等	

経費	水道料金調定収納及び公営企業会計システム機器更新費	20,792千円
	(計)	20,792千円
財源	一般財源	20,792千円

【水道事業会計】		事業区分	町自主事業
新規	給水車購入事業		本年度予算 20,697千円
(款) 1.資本的支出	(項) 1.建設改良費	(目) 4.固定資産購入費	前年度予算 0千円
上下水道課 工務係		予算書 393ページ	(増減) 20,697千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内容	<p>現在給水車として使用している車両は購入から24年が経過し、車両自体の老朽化が進んでいます。さらに、排ガス規制の対象となり、加圧ポンプも整備されていないため、活動地域及び用途が限られたものとなっています。</p> <p>これらの課題を解決するため、新たに給水量2tの加圧ポンプ付き給水車を購入します。</p> <p>[事業期間] 令和4年度</p>	
目的	<p>加圧ポンプ付き給水車を購入することで給水方法の充実を図り、災害時や漏水事故時の給水作業等に備えます。</p>	
目標	活動	加圧ポンプ付き給水車を購入します。
	目標	緊急時に迅速な給水作業を行います。
成果	実績	
	課題等	

経費	給水車購入費	20,697千円
	(計)	20,697千円
財源	水道応急給水車両緊急整備事業補助金(県補助、20,697千円×1/2)	10,348千円
	一般財源	10,349千円

【水道事業会計】		事業区分	町自主事業
花園梁瀬簡易水道中継ポンプ井更新工事 【花園梁瀬簡易水道】			本年度予算 23,000千円
(款) 1.資本的支出	(項) 1.建設改良費	(目) 3.改良更新費	前年度予算 886千円
上下水道課 工務係	予算書	410ページ	(増減) 22,114千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり		第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内容	<p>花園梁瀬簡易水道中継ポンプ井については、調査の結果、ポンプ井自体の老朽化やタンク部分の強度低下による漏水が見られます。 そのため、タンク部分の更新、ポンプの移設及び配管接続作業を行います。</p> <p>[事業期間] 令和3年度 ~ 令和4年度</p>	
	<p>施設の更新を行うことで、継続的で安全・安心な給水に寄与します。</p>	
目標	活動	花園梁瀬簡易水道の中継ポンプ井の更新工事を行います。
	目標	ポンプ井の更新により、安全・安心な給水に寄与します。
成果	実績	
	課題等	

経費	中継ポンプ井更新工事	23,000千円
	(計)	23,000千円
財源	企業債	23,000千円

【下水道事業会計】		事業区分	町自主事業
新規	大谷污水管渠布設基本設計業務委託		本年度予算 17,000千円
(款)	1.資本的支出	(項) 1.建設改良費	(目) 1.公共下水道整備事業費
上下水道課 工務係		予算書 440ページ	前年度予算 0千円
			(増減) 17,000千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内容	大谷地区第3-4処理分区の污水を国道24号と町道大谷5号線の交差点付近にある流域下水道受入点へ流入させるため、管渠布設基本設計業務を行います。 [事業期間] 令和4年度	
	下水道未普及地域解消のため、管渠布設基本設計を行います。	
目的	大谷地区の管渠布設基本設計を行います。	
	大谷地区 第3-4処理分区 面積17haの下水道未普及地域解消のための管渠布設基本設計を行います。	
目標	活動	大谷地区の管渠布設基本設計を行います。
	目標	大谷地区 第3-4処理分区 面積17haの下水道未普及地域解消のための管渠布設基本設計を行います。
成果	実績	
	課題等	

経費	大谷污水管渠布設基本設計業務委託(污水)	17,000千円
	(計)	17,000千円
財源	社会資本整備総合交付金(国補助、13,000千円×1/2)	6,500千円
	企業債	4,800千円
	一般会計繰入金(過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%))	4,800千円
	一般財源	900千円